

# 特許検索ガイドブック

～文書作成技術～

平成18年2月

特 許 庁

# 目次

## はじめに

### 本編

1. 技術の基礎
2. 先行技術文献調査を効果的に行うための基礎知識
3. 検索式作成のテクニック
  - (1) 使用する主なサーチツール
  - (2) 関連分野
  - (3) テキスト検索に有効なワード
  - (4) 検索のちょっとしたコツ
4. サーチ事例

### データ編

1. 本作成分野の分類データ
  - 1 - 1 IPC分類表
  - 1 - 2 FI分類表
  - 1 - 3 Fターム
  - 1 - 4 ECLA分類表
2. 出願データ

# 1. はじめに

## (1) 特許検索ガイドブックとは

特許文献は、最先端の技術情報です。企業、大学などの研究者にとって、技術知識の習得、重複研究の排除のために有用であり、また知的財産担当者が権利化可能性の調査を行うために不可欠なものとなっています。更に研究戦略や知財戦略の構築のためにも役立つ情報であるといわれています。

現在、公開公報等の特許文献は我が国だけでも4000万件以上あります。しかも、これらの特許文献の数は増加の一途をたどっています。

今後は、有用な特許情報に如何に効率的にアクセスするかが、研究者や知的財産担当者にとっての重要な課題となってくると考えられます。

それでは、これらの膨大な特許文献の集合を前にして、有用な特許情報に的確かつ効率的にアクセスするためにはどうしたらいいのでしょうか。

一言で言えば

「何を探すかを明確に把握し、最も適した検索キーを用いること」

に尽きると思います。つまり、膨大な特許文献の集合の中から、的確にしかも効率的に必要な先行技術を発見するためには、ただ漠然と同じような文献を探すのではなく、何を探すかを明確に把握し(つまり目的意識を持って)、その探すポイントに最も適した検索キーを使い分けることが必要になるということです。

特許庁の審査官が主に用いる検索キーとしては、IPC、FI、Fターム等<sup>1</sup>が挙げられますが、これらの検索キーの情報は容易に入手することができます。

しかし、実際の検索方法を見てみると、多くの利用者がキーワードを用いた検索に頼っているのが現実のようです。

キーワード検索は、単語を直接入力する方法なので検索する方にとって分かりやすい反面、用語が必ずしも統一されていない特許文献の中から必要な情報を的確かつ効率的に発見するという観点から見れば、必ずしも効果的とは言えません。

Fタームは、一定の技術範囲を種々の技術的観点から多観点で区分したものであり、例えば、目的、用途、構造、材料、製法、処理操作方法、制御手段などの多数の技術的観点から技術を区分したタームリストに基づいて、各特許文献ごとにその技術的特徴を示すFタームが付与されています。又、FIは、IPCをさらに細展開したものです。FタームやFIは、技術の特徴から絞り込むための検索キーであり、特許文献を検索する際には、キーワードよりも、FタームやFIの方が検索キーとして適切な

---

<sup>1</sup> 使用される主な用語欄を参照。

場合もかなり多いものです。そのため、先行技術調査を的確かつ効率的に行うためには、FタームやF I等の検索キーについての知識と理解が必須となるといえます。

この「特許検索ガイドブック」は、特許庁の審査官が、実際に先行技術調査を行った経験に基づいて作成しており、IPC、F I、Fターム等の検索キーに関する知識をお持ちである方が利用する前提で説明されています。これらをあまりご存じでない方は、まずIPC、F I、Fターム等に関するテキスト等をお読みになることをお勧めします。そのあとで、この特許検索ガイドブックを読めば、FタームやF I等の検索キーについての知識や理解をさらに深めるために役立つ情報が詰まっていることがご理解いただけるものと思います。

## (2) 先行技術文献調査を行う前に

### a. 検索ポイントの把握と変更

効果的に先行技術文献を探すためには、まず、「何を探すか」を明確に把握する必要があります。

例えば、ある出願に対する先行技術文献を調査する場合、その出願の特許請求の範囲の記載だけではなく、発明の詳細な説明の記載や図面等も確認したうえでその出願のポイントを把握し、「何を探すか」を総合的に判断することが必要となりますし、自身の発明やアイデアに対する先行技術文献を調査する場合、自身の発明やアイデアのポイントをきちんと把握することが必要となること等が挙げられます。

また、「何を探すか」の「何」をあまり限定しすぎず、調査結果に応じて検索キーを変更することや、探すポイントを変更することも重要です。

まず、検索キーの変更ですが、例えばキーワードによる検索で先行技術文献が発見できなかった場合、FタームやF I等を用いた検索を行うと発見できる場合がありますので、検索キーの選択は非常に重要になります。そして、最初にどの検索キーを用いるかは、探すポイントに応じて選択することとなります。

次いで探すポイントの変更ですが、特許法には「進歩性」という考え方があり、「発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者（一般に「当業者」といいます）が、容易に発明をすることができた発明」は、特許にはならないという規定があります。このことは、先行技術文献を調査する場合、ある発明と同じ発明を探すだけでは先行技術文献調査としては不十分であることを意味します。

たとえば「A」というポイントを探して発見できなかった場合、そこで検索を終了するのではなく、「A」は「BとCとの組み合わせでもできる」と判断した場合、「B」または「C」を検索することが必要になるということです。また、その組み合わせのパターンも数種類考えられる場合があり、それに応じて検索するポイントを変更して

いくこととなります。

このように、先行技術文献調査は、適切な検索キーを選択し必要に応じて変更すること、「進歩性」を考慮に入れつつ「何を探すか」を決め、そしてそれを臨機応変に変更することがきわめて重要なポイントとなります。

## **b. 検索キーについての知識と理解、検索式の決定**

検索キーとしては、IPC、FI、Fターム、キーワード等があり、これらの検索キーの構造・特徴を良く理解した上で、探したい発明等に応じてこれらの検索キーを使い分けることが必要となります。

また、どの技術分野を検索するのも重要なポイントです。検索する技術分野の決定には上述の「何を探すか」の決定が密接に関連してきます。探すポイントによっては、検索すべき範囲が特定の技術分野に限定されないことがあるからです。

技術分野を決定した後は検索式を構築することとなります。そして、その検索結果に応じて、上記 a. で述べた考え方を利用して検索式の変更や、検索する技術分野の変更等を行うこととなります。

## **c. 説明会テキスト等の利用**

特許庁では、特許庁ホームページ (<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>) において、各種説明会や講演会で用いられたテキスト等を公開していますので、必要に応じてご利用下さい。

### **(3) 使用される主な用語**

以下、特許検索ガイドブック中によく出てくる用語を簡単に紹介します。詳しい説明は割愛しますが、検索を効果的に行うためにも、他のテキスト等を利用して検索キーについては良く理解するようにして下さい。

IPC：世界50か国以上で共通に使用されている国際特許分類 (International Patent Classification)。1971年に作成された「国際特許分類に関するストラスブール協定」に基づいて作成され、同協定の加盟国で利用されている。日本では1980年からIPCを採用している。

FI：IPCをさらに展開するために、展開記号、分冊識別記号をIPCに付加し

たもの。特許審査における先行技術のサーチを効率的に行うことを目的として付与されており、国内でのみ使用される。展開記号は、IPCの最小単位であるグループを更に細かく展開するために用いる記号で、原則として101より始まる3桁の数字が使用される。分冊識別記号は、IPCまたは展開記号をさらに細かく展開するために用いる記号で、「I」、「O」を除くA～Zのアルファベット1文字が使用される。

**Fターム**：特許審査の先行技術文献サーチを迅速に行うための機械検索用に特許庁が開発した技術項目。一ないし複数のFIが付与された文献を、種々の技術的観点から多観点で区分してあることが特徴。目的、用途、構造、材料、製法、処理操作方法、制御手段などの多数の技術的観点から技術を分類したタームリストに基づいて各文献ごとにFタームを付与することにより、関連先行技術を絞り込むことを目指している。テーマコードとは、英数字5桁からなり、FIを所定の技術分野ごとに括ったFタームでの検索範囲となる技術単位のこと。

**ECLA**：欧州特許庁（EPO）において用いられている、IPCを細かく展開した独自の特許分類。European Patent Classification。

**USC**：米国特許商標庁（USPTO）において用いられている独自の特許分類。

**JOIS®**：独立行政法人科学技術振興機構（JST）が提供する、科学技術に関する情報を収録した情報提供サービス。JST Online Information System。

**DWPI**：トムソンサイエンティフィックが提供する世界40カ国相当の特許情報を収録したデータベース。Derwent World Patent Index®。

**STN®**：化学構造や化学反応、特許文献の検索に強みを持ち、豊富な科学技術情報を収録した情報提供サービス。The Scientific and Technical Information Network。

平成18年2月公開の技術分野一覧

インクジェット記録方法及びその記録媒体
絶縁耐力・破壊電圧試験
印刷物
エレベータ
エアバッグ
金銭登録機・受付機(POS・キャッシュレジスタ)
生体物質含有医薬
無電解めっき
製紙技術
オレフィン重合触媒
ケーブル・絶縁導体
カラー画像通信方式
文書作成技術

平成17年3月公開の技術分野一覧

レーザー一般
光学分析技術
電子ゲーム
ハイブリッド自動車
マニプレータ
調理機器
遺伝子工学
固体廃棄物の処理
燃料電池
デジタル記録担体及び周辺機器
光学的記録担体及びその製造
電話機の回路等

# 本 編

## 1 . 技術の基礎

### (1)テーマの包含する技術

このテーマは、所定の言語(日本語や英語のような、人間の会話に利用される狭義の言語を指す。いわゆるプログラミング言語等は含まれない。)で記述された自然言語データを処理する機能に特に適合したデジタル計算機技術のうち、所定の言語で記述された自然文テキストを処理するものであって、文字コード列で表現される文章を編集する技術を含む。したがって、ここでいう「文書」とは自然文テキストにより主に構成されたものを指す。

計算機を利用した自然文テキストの入力、編集技術を中心とし、文書出力、保存管理に関する技術も包含する。

このテーマでは、日本語の文書管理に関するものが大多数ではあるが、中国語、英語等の外国語に関するものも含まれる。

#### 【分類の概要】

G 06 F 17 / 21 文書全体に関連する編集処理及び出力処理	
G 06 F 17 / 21 , 501	文書の論理構造の管理
G 06 F 17 / 21 , 530 - 548	文書の視覚的レイアウトの管理 文書単位、ページ単位、行単位及び文書の部分的要素単位での書式の管理及び編集
G 06 F 17 / 21 , 550	文章の解析、文体の評価、推敲支援
G 06 F 17 / 21 , 562	文字の修飾、フォントの利用
G 06 F 17 / 21 , 564 - 568	文書の出力処理
G 06 F 17 / 21 , 570	文書ファイルの取り扱い
G 06 F 17 / 21 , 580 - 590	テキスト処理システムに関するもの
G 06 F 17 / 21 , 592	外国語の取り扱い
G 06 F 17 / 21 , 596	通信機能を利用した文書編集処理

G06F17/22 テキスト文字列の処理	
G06F17/22,502-509	テキストの入力
G06F17/22,510-526	かな漢字変換処理
G06F17/24	テキスト文字列の編集処理

G06F17/25	自動行揃え
G06F17/26	自動ハイフン付け

(2)関連する製品等

日本語の文書作成専用機としてのワードプロセッサ(『書院』シャープ(株):『オアシス』富士通(株):『RUPO』(株)東芝:『文豪』日本電気(株):『CanoWord』キャノン(株)等)は、PCの普及ネットワーク環境の整備等に対抗し、通信機能やスケジューラ等の機能を備え多機能化を図ってきたが、現在では専用機はほぼ姿を消し、文書処理機能はPCのアプリケーションソフトに移行している。

文書処理のためのアプリケーションソフトとしては『一太郎』(株)ジャストシステムや『Word』マイクロソフト(株)などが普及している。

(3)基礎的技術についての引用文献の例

	文献名	概要(引用のポイント)
特許文献	特開昭61-139829号公報	文書ファイルの構造変換
	特開昭59-002125号公報	基本的な共起変換
	特開昭60-017522号公報	文書構造解析、目次作成
	特開平2-302867号公報	誤入力補正変換
	特開昭63-054659号公報	階層構造文書の取り扱い
	特開昭63-59657号公報	書式自動調整
	特開平1-130267号公報	図形の取り扱いなど
非特許文献	Newton別冊1 ワードプロセッサのすべて	日本語ワードプロセッサの機能全般
	Newton別冊 ワードプロセッサすべて 最新版	〃
	JStarワークステーション	〃
	一太郎関連マニュアル等	〃
	Microsoft Word 関連マニュアル等	〃
	FUJI XEROX 8080-J StarII リファレンスガイド	〃
	Quark Xpress ユーザーガイド	〃
	Quark Xpress リファレンスマニュアル	〃
	東芝日本語ワードプロセッサ TOSWORD JW-700D 操作説明書	〃

## 2. 先行技術文献調査を効果的に行うための基礎知識

### 1. サーチ手法全般

文書処理技術に関する特許出願は、文書入力、内容編集、文書レイアウト定義、印刷出力までを装置単体で処理可能な、いわゆるワードプロセッサと呼ばれる装置を構成する要素技術に関するものが大多数を占めており、その技術的ニーズについても、日本語入力処理の効率化や、日本において頻繁に利用される文書の体裁に基づくもの等、日本での利用を前提とした技術開発が活発であり、全般的に日本独自の技術が多い。従ってこれらに関する先行技術については、一部の高度な自然言語処理技術(学術論文に関する調査が必要。)を除き、日本の特許文献や市販製品の操作説明書等をサーチの対象とすることにより、ほとんどフォロー可能である。

また、近年の計算機による文書処理の高度化やインターネットの普及により、出願される技術内容が徐々に変容し、従来型のワープロ関連技術から、電子化された文書情報を事後において活用することを念頭に置いた、構造化文書処理技術に関する技術へと出願傾向は推移している。

このような先端技術についての先行技術調査に関しては、日本の特許文献や市販製品の操作説明書等にとどまらず、その調査対象を拡大する必要があることがある。

### 2. ワードプロセッサ関連技術

いわゆるワープロ関連技術に特化した内容(かな漢字変換、文書体裁の編集等)についての先行技術調査は、市販製品の操作説明書等のサーチ、及び、テーマコード5B009のカバー範囲におけるFIとFタームの併用による特許文献のサーチで足りることが比較的多い。

ただし、計算機の汎用技術(ユーザインタフェース、ファイル管理、印刷制御等)との関連が深い場合には、その関連分野のサーチが不可欠である。

### 3. 構造化文書処理技術

構造化文書処理の例としては、文書の構造化処理、文書作成開始時点から構造化を前提とした文書の作成を支援する技術、論理的に構造化された文書から視覚的に構造化されたレイアウトを有する可視文書への変換処理、ネットワーク分散環境における複数のユーザによる分散協調型の文書作成・編集、構造化された文書に対する検索等の各種の処理、文書の構造化により可能となった電子化文書情報に対する各種の自動処理等を挙げることができる。

このような先端技術についての先行技術調査に関しては、テーマコード5B009のカバー範囲におけるFI、Fタームを用いた特許文献に加えて、適宜、既刊の単行本やJICSTファイルを利用した学術論文の調査、庁内CSDBを利用した各種技術雑誌の調査を行う。また、必要に応じて、外国特許文献の調査も行う。

### 3. 検索式作成のテクニック

#### (1) 使用する主なサーチツール

1. ここでは、検索にどのサーチツールを用いるかを重みを付けてFIごとに記載しています。
2. 重み付けの順序は、、、、無印となります。  
(無印はサーチ不要という意味ではありません。)
3. なお、ここで述べた有効性、必要性は一般論であり、サーチのポイントに応じて異なる事に注意してください。

#### 【分野毎のサーチ範囲一覧】

FI	検索対象の技術事項	サーチツール						
		FI	Fターム	テキスト	ECLA	WPI	WWW	JOIS
G06F17/21,24-26	ワードプロセッサ関連技術							
G06F17/22	入力		KA00-LC00					
	かな漢字変換関連		MA00-MJ00					
G06F17/21,501 503@T	構造化文書処理装置		QA06					

(2)関連分野

ここでは、必要に応じてサーチを行う事が多い、本作成分野と関連が深い分野について述べています。  
 ただし、サーチを行う分野はサーチのポイントによって変わる事に注意してください。

本 作 成 分 野			関 連 先 の 分 野		
IPC	検索対象の技術事項		テ-マコード	IPC	技術内容
G06F17/21, 501	見出し、目次、索引		5B075	G06F17/30	検索装置
	ハイパーテキスト		5B082	G06F12/00, 547@H	ハイパーテキストファイルの構成
	マークアップ記述言語で記述された文書の取り扱い		5B075 5B082	G06F17/30 G06F12/00	検索装置 計算機におけるファイル管理
G06F17/21, 530	編集		5B087	G06F3/037	ライトペンによる表示内容の変更
G06F17/21, 536	レイアウトロックの配置・割り付け・内容の編集		5B050	G06T11/60	イメージ処理・作成
G06F17/21, 538	定型フォーム		5B090	G06F19/00, 300	伝票作成のためのもの
	差し込み印刷		5B021	G06F3/12	オーバーレイ
G06F17/21, 546	図・画像・イメージ		5B050	G06T11/60	イメージ処理・作成
G06F17/21, 548	表組	表計算	5B090	G06F19/00, 300 - 310	伝票作成のためのもの、表計算のためのもの
G06F17/21, 550	自然言語解析		5B091	G06F17/27 - 28	機械翻訳
G06F17/21, 562	フォント生成		5C082	G09G5/22 - 30	フォント表示出力
G06F17/21, 564	表示技術		5B069 5C082	G06F3/14 G09G5/00	デジタル計算機の表示出力 表示装置の制御
	ユーザインターフェース		5E501	G06F3/00, 601 - 680	
	カーソル		5B020	G06F3/02, 320	カーソル制御のためのキー入力
			5B069	G06F3/14, 380	カーソルパターンの選択
	マルチウィンドウ		5B069	G06F3/14, 350	マルチウィンドウ表示における画面分割
G06F17/21, 566	印刷出力		5B021 2C087	G06F3/09, G06F3/12 B41J5/00, B41J21/00	タイプライター等へのデジタル出力 プリンティングのための記録情報の処理
	音声出力		5B026	G06F3/16	音声入出力
G06F17/21, 568	音声合成			G10L	合成音声
	記憶技術		5B089	G06F12/00	計算機におけるファイル管理
G06F17/21, 570	検索		5B075	G06F17/30	検索装置
	ハイパーテキスト		5B082	G06F12/00, 547	ハイパーテキストファイルの構成
G06F17/21, 580	装置構成			G06F1/00, 312	計算機本体の構造
	電源			G06F1/00, 330 - 340	計算機の電源
	オペレーティングシステム	プログラム制御	5B076	G06F9/06, 440 - 430	プログラムの作成、修正
G06F17/21, 586	対話		5B082	G06F12/00, 515	対話的ファイル処理
G06F17/21, 590			5B019	G06F15/02, 330, 350	時間、日数等の計算、スケジュール、時刻表
	日付	スケジュール	5B049	G06F17/60	時刻、スケジュール管理
G06F17/21, 592	翻訳		5B091	G06F17/27 - 28	機械翻訳
G06F17/21, 596	伝送技術		5B089	G06F13/00, 351	
G06F17/22, 502 G06F17/22, 506~507	文字入力	テキスト入力	5B020	G06F3/023	キーボード等からの入力
			5B068	G06F3/16	位置入力装置
	手書き入力	OCR	5B064	G06K9/62	文字認識
G06F17/22, 503	音声入力		5B087	G06F3/033, G06F3/037	表示による位置入力
	音声入力		5B026	G06F3/16	音声入出力
G06F17/22, 514	自然言語解析		5B091	G06F17/27 - 28	機械翻訳
G06F17/22, 520	検索	辞書	5B075	G06F17/30	検索装置
G06F17/22, 522	文字登録		5B020	G06F3/023, 310	複数文字登録可能なもの

(3)テキスト検索に有効なワード

【テキスト検索において留意する事項】

基本的に有効なFI、Fタームがない場合に、テキスト検索を行う。  
 文書作成・編集に関わる単語には「文書」「印刷」「表示」等、一般語として使用されるものも多いので検索ワードの選択には注意を要する。  
 また、FI、Fタームで有効な絞り込みができない場合に、テキストによる絞り込みを行う。FI、Fタームの観点を利用することで、一般語による絞り込みが可能な場合がある。

注) ここで述べたキーワード及びその類義語は、類義語を考える際の参考となる例であり、全てを網羅したものではありません。

【主なキーワードと類義語】

G06F17/21,25,26(文書編集処理一般)

論理構造	⇔	DTD	⇔	文書型定義	⇔	スキーマ
	⇔	階層構造	⇔	木構造		
	⇔	文書構造	⇔	物理構造		
構造化文書	⇔	マークアップ(記述言語)	⇔	ML		
	⇔	SGML	⇔	HTML		
			⇔	XML		
	⇔	ODA	⇔	(共通、特定)論理構造	⇔	(共通、特定)割付構造
要素	⇔	文書要素	⇔	論理要素	⇔	属性
	⇔	タグ	⇔	マーク	⇔	識別(符号、子、記号)
フォーマット(書式)	⇔	レイアウト	⇔	段組	⇔	縦/横書き
	⇔	右/左寄せ	⇔	センタリング	⇔	マージン
	⇔	ピッチ				
定型(定形)	⇔	テンプレート	⇔	フォーム	⇔	スタイル
	⇔	枠	⇔	フィールド	⇔	フレーム
頁書式	⇔	頁またがり	⇔	頁あふれ	⇔	上下余白
	⇔	行数	⇔	行間隔	⇔	文字間隔
禁則処理	⇔	行未	⇔	行頭		
	⇔	行揃え				
	⇔	ジャスティフィケーション	⇔	ワードラップ	⇔	ハイフネーション
外字	⇔	ユーザ(-)定義文字	⇔	未定義文字		
	⇔		⇔		⇔	
	⇔		⇔		⇔	
付加情報	⇔	アノテーション	⇔	コメント	⇔	注釈
			⇔	メモ	⇔	栞
	⇔	栞	⇔	マーキング	⇔	インデックス

G06F17/22(漢字入力、かな漢字変換技術)

文字認識	⇒	手書き入力	⇒	OCR	⇒	ページリーダー
	⇒	スキャナ	⇒	読み取り情報	⇒	走査
	⇒	タッチパネル	⇒	デ(イ)ジタイザ	⇒	タブレット
	⇒	ペン入力	⇒	電子ペン	⇒	スタイラス
	⇒	入力座標	⇒	描画データ		
曖昧検索	⇒	連想入力	⇒	部分入力	⇒	単語予測
	⇒	絞り込み	⇒	変換候補		
係り受	⇒	共起	⇒	用例		
意味辞書	⇒	共起辞書	⇒	解析用辞書	⇒	意味解析
	⇒	構文解析	⇒	文章解析	⇒	文章ベクトル
	⇒	意味ベクトル	⇒	分野ベクトル	⇒	ベクトル生成/合成
	⇒	形態素	⇒	自立語		
関連語	⇒	シソーラス	⇒	広義語	⇒	狭義語
	⇒	類語	⇒	類似語	⇒	類義語
	⇒	同音異義語	⇒	同意異字語	⇒	同意語
	⇒	同義語	⇒	反義語	⇒	反意語
	⇒	反対語				
辞書登録	⇒	自動登録	⇒	手動登録	⇒	登録順序
	⇒	使用順位	⇒	使用頻度	⇒	未登録語
	⇒	未知語	⇒	新語		

G06F17/24(文字列編集)

クリップボード	⇒	コピーペースト	⇒	切り取り	⇒	カット
	⇒	張り付け	⇒	挿入	⇒	オブジェクト

#### (4) 検索のちょっとしたコツ

ここで述べられた検索式等はあくまで例であって、ここで述べられた検索式等で十分なサーチを行えるものではありません。

##### <FI>

本技術分野においては、付与されているFIの多くが、発明が達成せんとする技術課題や、当該発明が果たす機能が文書作成業務におけるどのような局面で主として利用されているか等の観点に基づいて付与されている。

先行技術調査において用いるFIは、審査対象である本願についての新規性、進歩性の判断材料として必要となる技術要素がどのような事項であるかに十分留意して(特にその適用可能範囲を考慮しつつ)、本願自体に付与されたFIのみにとどまらず、テーマ全体から適切なFIを選択することを心がける。

また、選択したFIと同様の観点から採用し得るFタームの存否を常に意識し、利用可能なFタームが存在する場合には、Fタームも併用する。

例えば、FI同士の論理積を用いる場合に、FIと当該FIに対応するFタームとの論理和同士の論理積として検索式を作成する。(【検索式の例】参照)

##### <Fターム>

本技術分野におけるFタームは、FIに対し細部の展開を基本として構成されているが、文献に付与されているFIに関わらず文献全般に開示された技術について該当するタームが付与されている。

したがって、先行技術調査において用いるFタームは、審査対象である本願についての新規性、進歩性の判断材料として必要となる技術要素がどのような事項であるかに十分留意して(特にその適用可能範囲を考慮しつつ)、本願に付与されたもののみにとどまらず、テーマ全体から適切なFタームを選択することを心がける。

また、可能な限り高階層のFタームを利用し、広範な文献集合をスクリーニング対象とする。

また、選択したFタームと同様の観点から採用し得るFIの存否を常に意識し、利用可能なFIが存在する場合には、FIも併用する。(【検索式の例】参照)

##### <その他>

本技術分野におけるFI・Fタームは、いずれも文書の編集処理の観点から展開されているものなので、文書(テキスト文字列)編集処理技術が利用される用途に応じて、該当する他の技術分野のサーチも必要である。

#### 【検索式の例】

技術項目	検索式
見出し・脚注・参照文	G06F17/21,501@A+QA11
目次・索引	G06F17/21,501@A+QA12(またはQA13)
構造化文書	[G06F17/21,501@T+QA06]*X X:[G06F17/21,570@L+変換/tx] [G06F17/21,570@R+SA14] キーワード等
レイアウト表示	[G06F17/21,(530@K+566@R)+NA14]
かな漢字変換	G06F17/22,(501+512)+MA00:内容に応じて下位のFI、Fタームを選択
予測変換・曖昧変換	G06F17/22,520@S+ME15

お使いの検索環境に応じて検索式は異なります。

## 4. サーチ事例

### 事例(1)

出願番号	特願平3-291598号			
本願のサーチのポイント	本願は文字に修飾情報を設定する際の操作に関する発明であるが、操作性向上の手段はサンプル文字列をオペレータに示し選択を促すという操作支援手段である。			
事例とした理由	本願に付与されたFIに捕らわれず、テーマ全体から適切なFI(Fターム)を採用した検索の例。			
サーチ方針	過去に使用した修飾条件の情報を利用している点に着目し、文書作成支援手段としてのガイダンスを有するものとしてG06F17/21, 586などその技術に関連するFI(Fターム)のうち、修飾に関連した技術を検索。 本願に付与されたFIに捕らわれず、テーマ全体から適切なFI(Fターム)を採用。			
	使用DB	検索式	ヒット件数	備考
¥1		[TB03+G06F15/20,586@A]*[NB11+RA07+G06F15/20,(534@J+562@D)]	51	本願公開基準日 (H03.11.07) 前公開指定
¥2		[QB17+G06F15/20,554@M]*[NB11+RA07+G06F15/20,(534@J+562@D)]-¥1	14	
¥3		[TB03+G06F15/20,586@A]*[QB17+G06F15/20,554@M]-¥1-¥2	60	
¥4		[NB11+RA07+G06F15/20,(534@J+562@D)]-¥1-¥2-¥3 * 2次[サンプル+メニュー+選択+登録+複数+候補]	227	

- ※ ヒット件数は実際と異なることがあります。  
 ※ お使いの検索環境に応じて検索式は異なります。

### 事例(2)

出願番号	特願平08-339357号			
本願のサーチのポイント	文書編集画面におけるツールバー上のコマンド(ボタン)の表示制御。			
事例とした理由	本技術分野に限定せず、一般的な情報処理装置のユーザーインターフェースのサーチを要した例。			
サーチ方針	文書編集画面におけるユーザーインターフェースとしてのサーチ。及び、一般的な情報処理装置におけるユーザーインターフェース技術をサーチ(¥2, ¥3)。			
	使用DB	検索式	ヒット件数	備考
¥1		[G06F17/21,586@E+TB11]*(ツール+ボタン+アイコン)/TX	181	本願公開基準日 (H08.12.19) 前公開指定  ¥3が¥2に優先
¥2		[G06F3/00,651@B+EB11]*[G06F3/00,654@B+G06F3/00,657+FA03+FA04+FA05]*(グループ+類似+類型+同種+同じ機能)/TX	185	
¥3		¥3*(頻度+回数+代表)/TX	64	

- ※ ヒット件数は実際と異なることがあります。  
 ※ お使いの検索環境に応じて検索式は異なります。

## Ⅱ データ編

## 1. 本作成分野の分類データ

### 1-1 I P C 分類表

I P C	階層	説 明
G06F 17/20	・	自然言語データの取扱い(音声の分析または合成G10L)
G06F 17/21	・・	テキスト処理(17/27, 17/28が優先; 植字機用システムB41B27/00)
G06F 17/22	・・・	符号の使用による操作または登録, 例. テキスト文字列におけるもの
G06F 17/24	・・・	編集, 例. 挿入 / 削除
G06F 17/25	・・・	自動行揃え
G06F 17/26	・・・	自動ハイフン付け

1 - 2 F I 分類表

FI	グループ/ 識別 階層 (ドット)	分識 階層 (ドット)	日 本 語 版	付与件数 (平成17 年11月 未現在)
G06F 17/20	・	・	自然言語データの取り扱い(音声の分析または合成G10L) (H12.6新設)	
G06F 17/21	・・	・・	テキスト処理(17/27, 17/28が優先;植字機用システムB41B 27/00)(H12.6新設)	31711
G06F 17/21,501@¥	・・・	・・・	文書の論理的構造の管理(H12.6新設)	1712
G06F 17/21,501@A	・・・		見出し・注・目次・索引・参照文(H12.6新設)	674
G06F 17/21,501@T	・・・		マークアップタグの扱い(H12.6新設)	403
G06F 17/21,501@Z	・・・		その他(H12.6新設)	686
G06F 17/21,530@¥	・・・	・・・	文書の視覚的レイアウトの管理(H12.6新設)	7355
G06F 17/21,530@A	・・・		スキャナによるレイアウトの入力(H12.6新設)	322
G06F 17/21,530@E	・・・		スタイル・レイアウトの管理(H12.6新設)	713
G06F 17/21,530@J	・・・		管理・編集・参照データの表示(H12.6新設)	311
G06F 17/21,530@K	・・・		レイアウトの表示(H12.6新設)	439
G06F 17/21,530@P	・・・		特殊形態[例. 数式・化学式]の処理(H12.6新設)	142
G06F 17/21,530@T	・・・		マークアップタグの扱い(H12.6新設)	108
G06F 17/21,530@Z	・・・		その他(H12.6新設)	161
G06F 17/21,536@¥	・・・	・・・	レイアウトブロックの配置・割り付け・内容の編集(H12.6新設)	1528
G06F 17/21,538@¥	・・・	・・・	定型文書の利用(伝票に関連する処理→G06F19/00)(H12.6 新設)	1068
G06F 17/21,538@A	・・・		定型書式[例. 葉書・名刺](H12.6新設)	464
G06F 17/21,538@M	・・・		データの差し込み・連結(H12.6新設)	589
G06F 17/21,538@Z	・・・		その他(H12.6新設)	51
G06F 17/21,540@¥	・・・	・・・	ページの管理(H12.6新設)	282
G06F 17/21,542@¥	・・・	・・・	行の管理(H12.6新設)	109
G06F 17/21,542@A	・・・		行間・文字間の管理(H12.6新設)	655
G06F 17/21,542@D	・・・		センタリング・マージン(H12.6新設)	226
G06F 17/21,542@G	・・・		タブ・インデント(H12.6新設)	127
G06F 17/21,542@P	・・・		スペース・スペース行(H12.6新設)	218
G06F 17/21,542@Z	・・・		その他(H12.6新設)	49
G06F 17/21,544@¥	・・・	・・・	禁則処理(H12.6新設)	76
G06F 17/21,546@¥	・・・	・・・	テキスト中のグラフィックスの扱い(図形およびテキストの編集→G 06T11/60)(H12.6新設)	1113
G06F 17/21,546@A	・・・		グラフィック部の挿入(H12.6新設)	863
G06F 17/21,546@Z	・・・		その他(H12.6新設)	267
G06F 17/21,547@¥	・・・	・・・	罫線の管理(H12.6新設)	570
G06F 17/21,547@A	・・・		罫線の制御(H12.6新設)	394
G06F 17/21,547@G	・・・		罫線の設定・削除(H12.6新設)	166
G06F 17/21,547@Z	・・・		その他(H12.6新設)	33
G06F 17/21,548@¥	・・・	・・・	表の管理(伝票処理・表計算一般→G06F19/00)(H12.6新設)	954
G06F 17/21,548@A	・・・		セル内データ(H12.6新設)	243
G06F 17/21,548@E	・・・		表示・カーソル制御(H12.6新設)	197
G06F 17/21,548@G	・・・		計算[例. 合計](H12.6新設)	456
G06F 17/21,548@Z	・・・		その他(H12.6新設)	96
G06F 17/21,550@¥	・・・	・・・	文章の解析・文体の評価・推敲支援(H12.6新設)	1464
G06F 17/21,550@A	・・・		自然文の解析(機械翻訳におけるもの→G06F17/27)(H12.6 新設)	729
G06F 17/21,550@J	・・・		言い回し・誤使用対策(H12.6新設)	460
G06F 17/21,550@K	・・・	・	異表記[例. 送りがな]からの選択、表記の変換(H12.6新設)	142
G06F 17/21,550@L	・・・	・	異文体[例. ですます体・敬語・文語]からの選択、文体の変換 (H12.6新設)	121
G06F 17/21,550@Z	・・・		その他(H12.6新設)	75

G06F 17/21,562@¥	...	...	文字の修飾・フォントの処理(フォント関連処理一般→G09G5/2) (H12.6新設)	3062
G06F 17/21,562@A	...		外字の作成・追加(H12.6新設)	311
G06F 17/21,562@B	...		OCRを用いるもの(H12.6新設)	66
G06F 17/21,562@C	...		サイズ・全角・半角の指定(H12.6新設)	474
G06F 17/21,562@D	...		修飾・網掛け・縁どり(H12.6新設)	349
G06F 17/21,562@F	...		アンダーライン・枠(H12.6新設)	164
G06F 17/21,562@J	...		ルビ・添字(H12.6新設)	124
G06F 17/21,562@M	...		多種類のフォントの扱い(H12.6新設)	527
G06F 17/21,562@N	...		フォントファイル・格納・圧縮(H12.6新設)	328
G06F 17/21,562@P	...		アクセス・展開・不存在時処理(H12.6新設)	453
G06F 17/21,562@Z	...		その他(H12.6新設)	490
G06F 17/21,564@¥	...	...	編集画面への出力(表示装置への出力一般→G06F3/14, G0 9G)(H12.6新設)	2374
G06F 17/21,564@A	...		小型(1~数行)の表示部を用いた編集(H12.6新設)	217
G06F 17/21,564@E	...		入力保護・入力ガイド表示・キー制御(H12.6新設)	258
G06F 17/21,564@F	...		カーソル制御(H12.6新設)	405
G06F 17/21,564@G	...		画面分割・ウィンドウ表示(H12.6新設)	340
G06F 17/21,564@L	...		特殊コード[例. 改行コード]の可視表示(H12.6新設)	90
G06F 17/21,564@M	...		縦・横制御(H12.6新設)	181
G06F 17/21,564@N	...		VRAM・制御RAM(H12.6新設)	76
G06F 17/21,564@P	...		特殊な表示(H12.6新設)	421
G06F 17/21,564@Z	...		その他(H12.6新設)	522
G06F 17/21,566@¥	...	...	印刷出力(印刷一般→B41J、印刷装置とのインターフェース→G 06F3/12)(H12.6新設)	2392
G06F 17/21,566@A	...		印刷制御(H12.6新設)	514
G06F 17/21,566@B	...		出力ファイル(H12.6新設)	70
G06F 17/21,566@D	...		部分印刷・印刷可能領域の設定(H12.6新設)	235
G06F 17/21,566@E	...		印刷フォーマットの管理(H12.6新設)	312
G06F 17/21,566@H	...		画面表示向け出力と印刷向け出力との対応付け(H12.6新設)	150
G06F 17/21,566@J	...		改行・改ページ(H12.6新設)	76
G06F 17/21,566@K	...		文字間・行間(H12.6新設)	166
G06F 17/21,566@M	...		書体・変形・拡大・属性(H12.6新設)	241
G06F 17/21,566@N	...		罫線・アンダーライン(H12.6新設)	60
G06F 17/21,566@P	...		付加情報の出力[例. メモ・日付・時刻・番号・ヘッダ・フッタ] (H12.6新設)	173
G06F 17/21,566@Q	...		ページ管理[例. 奇偶・裏表](H12.6新設)	217
G06F 17/21,566@R	...		印刷プレビュー・参考情報・ガイダンス(H12.6新設)	203
G06F 17/21,566@Z	...		その他(H12.6新設)	188
G06F 17/21,568@¥	...	...	音声出力(音声出力一般→G06F3/16; 音声合成一般G10L) (H12.6新設)	583
G06F 17/21,568@A	...		校正作業(読み合わせ)関連(H12.6新設)	350
G06F 17/21,568@Z	...		その他(H12.6新設)	235
G06F 17/21,570@¥	...	...	文書データの物理的構造・文書ファイル(ファイル処理一般→G0 6F12/00)(H12.6新設)	3427
G06F 17/21,570@A	...		記録装置・記録媒体の処理[例. メディアの初期化・読み出し] (H12.6新設)	139
G06F 17/21,570@C	...		ファイル名の指定(H12.6新設)	109
G06F 17/21,570@D	...		ディレクトリ・インデックス・ハイパーリンク(H12.6新設)	549
G06F 17/21,570@E	...		データ領域の確保・表示(H12.6新設)	57
G06F 17/21,570@G	...		保存のためのデータ変換・圧縮(H12.6新設)	166
G06F 17/21,570@L	...		データ形式・変換[例. 文字コード系の扱い](H12.6新設)	692
G06F 17/21,570@M	...		文書のセキュリティの確保[例. パスワード]・障害対策(H12.6新 設)	432
G06F 17/21,570@N	...		ファイルリストの表示・ファイルの検索(H12.6新設)	547
G06F 17/21,570@R	...		副次的情報[例. 履歴・属性・概要・文書内でのみ利用される文字 データ](H12.6新設)	810
G06F 17/21,570@U	...		システムファイル[例. システムで共通に利用される文字データ・ 辞書](H12.6新設)	86
G06F 17/21,570@Z	...		その他(H12.6新設)	196

G06F 17/21,580@¥	...	...	テキスト処理システムの構成・制御(H12.6新設)	2210
G06F 17/21,580@A	...		テキスト処理装置の構造(データ処理装置の構造→G06F1/00)(H12.6新設)	259
G06F 17/21,580@D	...		システム機能またはリソース[例. フォント]のネットワーク分散化(H12.6新設)	456
G06F 17/21,580@J	...		システムソフトウェア関連(H12.6新設)	346
G06F 17/21,580@Z	...		その他(H12.6新設)	36
G06F 17/21,586@¥	.....	.....	テキスト処理システムの操作(H12.6新設)	1157
G06F 17/21,586@A	.....		ガイダンス(H12.6新設)	479
G06F 17/21,586@B	.....	•	ガイダンスのうち特にファイル操作に関するもの(H12.6新設)	199
G06F 17/21,586@E	.....		コマンド入力・処理(H12.6新設)	192
G06F 17/21,586@G	.....		モード設定・処理(H12.6新設)	145
G06F 17/21,586@J	.....		パスワード(H12.6新設)	74
G06F 17/21,586@Z	.....		その他(H12.6新設)	94
G06F 17/21,590@¥	...	...	テキスト処理システムの補助機能(H12.6新設)	3413
G06F 17/21,590@A	...		教育・訓練(H12.6新設)	135
G06F 17/21,590@E	...		検索・データベース関連の処理(情報検索→G06F17/30)(H12.6新設)	750
G06F 17/21,590@J	...		日付・時刻管理(H12.6新設)	194
G06F 17/21,590@Z	...		その他(H12.6新設)	274
G06F 17/21,592@¥	.....	.....	外国語(機械翻訳→G06F17/28)(H12.6新設)	1123
G06F 17/21,592@A	.....		多言語処理(H12.6新設)	342
G06F 17/21,592@D	.....		欧文(行端揃え→G06F17/25, ハイフン処理→G06F17/26)(H12.6新設)	174
G06F 17/21,592@F	.....		欧文スペルチェック処理(G06F17/27@Xも付与)(H12.6新設)	283
G06F 17/21,592@J	.....		中国語(H12.6新設)	270
G06F 17/21,592@N	.....		ハンゲル(H12.6新設)	59
G06F 17/21,592@Z	.....		その他(H12.6新設)	36
G06F 17/21,596@¥	.....	.....	通信機能(H12.6新設)	1011
G06F 17/21,596@A	.....		協同作業による文書作成または編集(H12.6新設)	628
G06F 17/21,596@Z	.....		その他(H12.6新設)	385
G06F 17/22	...	...	符号の使用による操作または登録, 例. テキスト文字列におけるもの(H12.6新設)	
G06F 17/22,502@¥	.....	.....	文字列の入力(コード入力一般→G06F3/02)(H12.6新設)	8920
G06F 17/22,502@A	.....		キー・タブレット(H12.6新設)	263
G06F 17/22,502@B	.....		日本語入力キーボード(H12.6新設)	165
G06F 17/22,502@G	.....		入力モード(H12.6新設)	242
G06F 17/22,502@J	.....		特殊文字[例. ゃ]の入力(H12.6新設)	143
G06F 17/22,502@Z	.....		その他(H12.6新設)	338
G06F 17/22,503@¥	.....	.....	音声入力(音声入力一般→G06F3/16; 音声認識一般→G10L)(H12.6新設)	519
G06F 17/22,504@¥	.....	.....	かな文字の入力(H12.6新設)	535
G06F 17/22,504@A	.....		かな入力(H12.6新設)	61
G06F 17/22,504@F	.....		ローマ字かな変換(H12.6新設)	450
G06F 17/22,504@Z	.....		その他(H12.6新設)	32
G06F 17/22,506@¥	.....	.....	漢字の入力(かな漢字変換→G06F17/22, 510~)(H12.6新	1656
G06F 17/22,506@A	.....		OCR・手書入力を用いるもの(文字認識一般→G06K9/00)(H12.6新設)	678
G06F 17/22,506@B	.....	•	かな漢字変換とOCR・手書き入力との連携(H12.6新設)	134
G06F 17/22,506@Z	.....		その他(H12.6新設)	38
G06F 17/22,507@¥	.....	.....	表示された漢字群からの選択による入力(H12.6新設)	315
G06F 17/22,507@A	.....		漢字の一覧表による入力(H12.6新設)	129
G06F 17/22,507@Z	.....		その他(H12.6新設)	192
G06F 17/22,508@¥	.....	.....	漢字の形状に基づく入力(H12.6新設)	314
G06F 17/22,508@A	.....		部首・構成要素による入力(H12.6新設)	228
G06F 17/22,508@E	.....		形態・書き順による入力(H12.6新設)	63
G06F 17/22,508@Z	.....		その他(H12.6新設)	36

G06F 17/22,509@¥	.....	.....	特殊な形式による入力(H12.6新設)	257
G06F 17/22,509@A	.....		連想入力[例. 予め割り当てられたかな2文字による漢字の入力](H12.6新設)	65
G06F 17/22,509@D	.....		漢字コード入力(H12.6新設)	65
G06F 17/22,509@F	.....		画数入力(H12.6新設)	32
G06F 17/22,509@Z	.....		その他(H12.6新設)	98
G06F 17/22,510@¥	.....	.....	かな漢字変換(H12.6新設)	5876
G06F 17/22,510@A	.....		変換制御に伴う入力制御(H12.6新設)	108
G06F 17/22,510@B	.....	•	未変換かな列の保持(H12.6新設)	76
G06F 17/22,510@C	.....	•	入力誤り対策(H12.6新設)	200
G06F 17/22,510@N	.....		変換制御に伴う表示制御(H12.6新設)	193
G06F 17/22,510@P	.....		出力態様の決定(H12.6新設)	101
G06F 17/22,510@Z	.....		その他(H12.6新設)	41
G06F 17/22,512@¥	.....	.....	変換機能(H12.6新設)	2407
G06F 17/22,512@A	.....		複数種変換処理の組み合わせ・選択(H12.6新設)	229
G06F 17/22,512@D	.....		変換開始時の操作[例. モード設定・範囲指定](H12.6新設)	188
G06F 17/22,512@G	.....		変換開始後の操作[例. 確定・未確定戻し・再変換](H12.6新設)	188
G06F 17/22,512@N	.....		数字変換[例. アラビア数字→漢数字](H12.6新設)	108
G06F 17/22,512@P	.....		外来語[例. 英単語表記によるカタカナ語の入力](H12.6新設)	119
G06F 17/22,512@R	.....		ルビ・振りがなの出力(H12.6新設)	171
G06F 17/22,512@V	.....		逆変換(H12.6新設)	182
G06F 17/22,512@Z	.....		その他(H12.6新設)	219
G06F 17/22,514@¥	.....	.....	文節区切り処理(H12.6新設)	1274
G06F 17/22,514@A	.....		区切りに伴うデータ構造の操作・ツリーの探索・バックトラック(H12.6新設)	97
G06F 17/22,514@B	.....		逐次変換逐次表示(H12.6新設)	24
G06F 17/22,514@D	.....		文法の利用(H12.6新設)	54
G06F 17/22,514@E	.....	•	自立語+付属語・語幹+語尾(H12.6新設)	108
G06F 17/22,514@F	.....	•	接頭語・接尾語(H12.6新設)	26
G06F 17/22,514@G	.....	•	助詞・音素(H12.6新設)	44
G06F 17/22,514@K	.....		ユーザの手助けによる再処理(H12.6新設)	135
G06F 17/22,514@M	.....		評価値・評価関数(H12.6新設)	108
G06F 17/22,514@N	.....		区切り位置の学習(H12.6新設)	73
G06F 17/22,514@P	.....		逆変換・分割失敗対策(H12.6新設)	43
G06F 17/22,514@Q	.....		n文節最長一致法(H12.6新設)	40
G06F 17/22,514@T	.....		複合語の処理(H12.6新設)	174
G06F 17/22,514@U	.....		意味・接続関係・用法・用例の利用[例. 連語変換・用例変換](H12.6新設)	404
G06F 17/22,514@X	.....		区切り済みの入力[例. 分かち書き]による変換(H12.6新設)	103
G06F 17/22,514@Z	.....		その他(H12.6新設)	22
G06F 17/22,520@¥	.....	.....	変換辞書(H12.6新設)	2627
G06F 17/22,520@A	.....		データ構造(H12.6新設)	137
G06F 17/22,520@B	.....		階層化(H12.6新設)	96
G06F 17/22,520@C	.....		インデックス(H12.6新設)	40
G06F 17/22,520@D	.....		圧縮(H12.6新設)	91
G06F 17/22,520@G	.....		分野別辞書(H12.6新設)	194
G06F 17/22,520@H	.....		ユーザ別辞書(H12.6新設)	90
G06F 17/22,520@L	.....		データの内容・用途に特徴があるもの(H12.6新設)	157
G06F 17/22,520@M	.....	•	類語・反語(H12.6新設)	165
G06F 17/22,520@N	.....	•	住所・郵便番号(H12.6新設)	256
G06F 17/22,520@R	.....		アクセス・検索制御(H12.6新設)	202
G06F 17/22,520@S	.....		曖昧検索[例. かな見出し語の入力の揺れを許容するもの](H12.6新設)	327
G06F 17/22,520@T	.....		変換レベル[例. 用語・漢字の難易度](H12.6新設)	117
G06F 17/22,520@Z	.....		その他(H12.6新設)	146
G06F 17/22,522@¥	.....	.....	登録・削除(H12.6新設)	890
G06F 17/22,522@A	.....		キーボード上のキーとの対応づけ(H12.6新設)	59
G06F 17/22,522@K	.....		登録処理(H12.6新設)	217
G06F 17/22,522@L	.....		自動取り込み(H12.6新設)	206
G06F 17/22,522@M	.....		ユーザによる指示(H12.6新設)	87
G06F 17/22,522@P	.....		削除・変換無視(H12.6新設)	53
G06F 17/22,522@T	.....		長文登録(H12.6新設)	135
G06F 17/22,522@U	.....		定形文管理(H12.6新設)	159
G06F 17/22,522@Z	.....		その他(H12.6新設)	38

G06F 17/22,524@Y	.....	.....	変換候補の学習(H12.6新設)	672
G06F 17/22,524@A	.....		頻度+他の要素による学習(H12.6新設)	230
G06F 17/22,524@B	.....		複数のテーブル・基準(H12.6新設)	68
G06F 17/22,524@G	.....		表示の制御を伴うもの(H12.6新設)	38
G06F 17/22,524@L	.....		直近使用に基づく学習・使用バッファの処理(H12.6新設)	123
G06F 17/22,524@P	.....		暫定辞書・ユーザ辞書(H12.6新設)	111
G06F 17/22,524@Z	.....		その他(H12.6新設)	142
G06F 17/22,526@Y	.....	.....	同音異義語の選択処理(H12.6新設)	664
G06F 17/22,526@A	.....		情報の追加による絞り込み(H12.6新設)	218
G06F 17/22,526@E	.....		選択のための情報の表示(H12.6新設)	357
G06F 17/22,526@Z	.....		その他(H12.6新設)	116
G06F 17/24	...	...	編集, 例. 挿入/削除(H12.6新設)	
G06F 17/24,554@Y	....	....	文字列の編集・修正(H12.6新設)	1684
G06F 17/24,554@A	....		モードの設定と表示[例. システムエリアへの表示](H12.6新設)	123
G06F 17/24,554@C	....		修正領域・修正単位(H12.6新設)	69
G06F 17/24,554@G	....		修正位置・修正範囲の指定(H12.6新設)	264
G06F 17/24,554@H	....		移動・挿入・削除・置換(H12.6新設)	596
G06F 17/24,554@M	....		連続修正・検索修正・解析修正・キー操作の記憶(H12.6新設)	294
G06F 17/24,554@N	....		履歴・修正箇所の表示(H12.6新設)	386
G06F 17/24,554@Z	....		その他(H12.6新設)	93
G06F 17/25	...	...	自動行揃え(H12.6新設)	7
G06F 17/26	...	...	自動ハイフン付け(H12.6新設)	47

なお、FIハンドブックの情報については、  
<http://www5.ipdl.ncipi.go.jp/pmgs1/pmgs1/pmgs>  
から入手することができます。

1-3 Fターム

5B009		文書処理装置 G06F17/20-17/26									
KA	KA00 文書入力制御	KA01 キー/タブレット	KA02 日本語入力 キーボード	KA03 キーの機能 /意味付け	KA04 入力モード/ シフトモード	KA05 入力誤り対策	KA06 モード誤り対 策	KA07 入力の再利 用/アンドウ	KA08 特殊文字(例、 括弧/絵文字) 入力	KA09 合成文字 (例、アクセント 記号)入力	
	KB00 音声入力	KB01 操作者の補助 入力				KB04 不確定候補の 対策	KB05 認識用テー ブル	KB06 かな漢字変 換の結果を利 用するもの			
KC	KC00 仮名入力	KC01 仮名の直接入 力	KC02 濁音/拗音 /促音の入力				KC05 ローマ字入力	KC06 ローマ字 かな 変換			
	LA00 漢字入力	LA01 OCR/手書入 力を用いるもの	LA02 仮名 漢字 変換の技術を利用 するもの	LA03 文字認識の ための辞書	LA04 連想入力	LA05 漢字コード入 力	LA06 画数入力	LA07 熟語を利用す るもの			
LB	LB00 表示入力	LB01 漢字全部表示	LB02 頁式/シフト 式	LB03 表示装置を利用 するもの							
	LC00 分解入力	LC01 部首/構成要 素入力	LC02 形態/ゴーマ 法	LC03 書き順によるも の							
MA	MA00 仮名 漢字変 換	MA01 変換制御に伴 う入力制御	MA02 入力仮名列 の保持	MA03 入力誤り対策	MA04 変換開始	MA05 複数変換部/ 複数の変換機 能を有するもの	MA06 確定/未確定	MA07 変換情報 (例、品詞情報) を記憶しておく	MA08 再変換	MA09 変換不可能 時の対策	
		MA11 変換に伴う表示 制御	MA12 外来語	MA13 変換レベル (例、教育漢字 /当用漢字の)	MA14 推敲を伴うもの						
MB	MB00 単語区切り処 理	MB01 区切り入力/ 分かち書き入力	MB02 漢字部分/カ タカナ部を指定 するもの	MB03 区切り処理一 般	MB04 バックトラック (総当たり)	MB05 分割失敗対 策	MB06 人よる手助 け/再分割指 示	MB07 評価値(尤値) /評価関数			
		MB11 最長一致	MB12 逐次変換逐 次表示	MB13 最長一致の 補正	MB14 複合語処理	MB15 複合語の登 録	MB16 複合語/熟 語の分割				
		MB21 意味/用法を 利用するもの	MB22 単語の接続 関係テーブル			MB25 文法学習/分 割方法の記憶 /学習一般					
MC	MC00 文法を利用す るもの	MC01 品詞の接続 テーブル	MC02 自立語+付属 語	MC03 語幹+語尾/ 活用テーブル	MC04 接頭語/接尾 語	MC05 助詞/助動詞					
	ME00 変換辞書	ME01 辞書の構造	ME02 論理的階層 構造	ME03 インデックス テーブル	ME04 物理的階層 構造	ME05 特殊なサーチ キー	ME06 圧縮技術				
		ME11 複数の変換辞 書を有するもの	ME12 分野別辞書	ME13 ユーザ別辞 書	ME14 アクセス/辞 書の読み出し制御	ME15 曖昧検索(例、 誤り/略語)	ME16 濁音/長音/ 促音/拗音の 違い	ME17 部分(例、頭 の部分)一致に よるもの			
		ME21 特殊内容辞書	ME22 類語/同意 語/反語辞書	ME23 住所/〒/ 電話番号/地 区番号	ME24 地名/人名	ME25 意味辞書	ME26 出力情報 (例、書体)を含 むもの				
MF	MF00 登録/削除	MF01 キーボードの キー対応に記憶	MF02 辞書登録一般	MF03 自動取り込み	MF04 オペレータ指 示	MF05 削除/変換無 視	MF06 長文/定形文 登録	MF07 登録検索キー			
	MG00 学習機能(頻 度/最新)	MG01 頻度情報一般	MG02 複数の頻度 テーブル/基準 を有するもの	MG03 近近選択の 優先	MG04 表示の制御を 伴うもの	MG05 直近使用/使 用バッファ	MG06 暫定辞書				
MH	MH00 同音異字処理	MH01 情報の追加に よる絞り込み	MH02 候補の表示に よる選択	MH03 表示順序 (例、画数順/ 頻度順)に 関するもの	MH04 表示エリア/ 表示形態に 関するもの	MH05 ウィンドウを 開けるもの	MH06 特殊な枠 (例、キーボード の形)を作るも の	MH07 参考情報 (例、意味/用 例)を表示する			
	MJ00 特殊変換	MJ01 かな文字確定	MJ02 数字変換	MJ03 漢字 かな変 換	MJ04 るび/振り仮 名出力	MJ05 カタカナ/アル ファベット/かな 相互変換					
NA	NA00 書式データの 管理	NA01 OCRによる編 集/校正デー タの入力	NA02 タブレットに よる編集/校正 データの管理	NA03 書式データの 管理	NA04 文書と書式 データを分離し て管理するもの	NA05 階層構造を 持つ書式	NA06 文書中に制御 データを埋め込 むもの	NA07 書式の変換/ 移植			
		NA11 書式/編集/ 参照データの表 示	NA12 タブ/マー ジンの表示	NA13 頁/行/桁 数の表示	NA14 レイアウト(印 刷イメージ)の 表示/縮小表	NA15 デシマル					
NB	NB00 文書編集処理	NB01 書式データに よる文書の展開	NB02 校正による書 式への影響対 策	NB03 行におけるも の	NB04 頁におけるも の	NB05 書式機能の停 止/変更	NB06 書式のエラー /実行不能時 対策	NB07 特殊形態(例、 数式/化学式) の生成	NB08 縦横変換/管 理		
		NB11 書体(例、大き さ/アンダーラ イン)管理	NB12 文字種(例、 カタカナ/数字) による書体の変 更	NB13 単語/文章 による書体の変 更	NB14 印刷に特有な もの	NB15 印刷用紙によ る書式の制御					

NC	NC00	ブロック(領域)編集	NC01	NC02	NC03	NC04	NC05	NC06	NC07				
		・割付処理一般	・領域の生成・変更 / 削除	・領域の物理的位置情報の管理	・領域の論理的結合の管理	・領域内のデータ管理	・領域内のデータ編集 / 校正	・領域文書の表示制御					
ND	ND00	固定様式	ND01	ND02	ND03	ND04							
		・固定様式(例、葉書 / 名刺)	・差込み	・文書の連結 / 合成	・既存分書からの取り込み / 利								
NE	NE00	頁管理	NE01	NE02	NE03	NE05							
		・頁単位での書式管理	・頁ナンバーの管理 / 頁表示	・頁単位の編集	・頁またがり / 頁あふれ管理								
NF	NF00	行管理	NF01	NF02	NF03	NF04	NF05	NF06	NF07	NF08	NF09		
		・行単位での書式管理	・行間 / 改行印管理	・文字間隔	・文字の整列	・センタリング	・右づめ / 左づめ	・マージン	・タブ	・インデント / 段下げ			
			・禁則処理	・行頭禁則	・行末禁則								
NG	NG00	画像の編集を含むもの	NG01	NG02	NG03	NG04	NG05						
		・キャラクタ・ビットマップ変換	・合成 / 画像挿入	・挿入位置の管理	・本文と図表との関連付け	・画像校正							
PA	PA00	罫線管理	PA01	PA02	PA03	PA04	PA05						
		・罫線データのプログラム	・カーソルによる線引き / 移動 / 削除	・罫線パターンによる線引き / 移動 / 削除	・線種の制御	・編集による影響の管理							
PB	PB00	表管理	PB01	PB02	PB03	PB04	PB05	PB06					
		・表 / 欄の増減	・表示 / カーソル(例、項 / 欄の指定)	・欄内のデータ管理	・データの変更に伴う枠組みの変更	・計算 / 表計算	・グラフ化						
QA	QA00	文体校正(推敲)	QA01	QA02	QA03	QA04	QA05	QA06	QA07	QA08	QA09		
		・自然文解析	・文法解析によるもの	・単語・文節の切り出し / 辞書作成	・意味解析によるもの	・抄録作成 / 短文化	・文体構造の管理	・章 / 節の管理	・項番号の付与 / 管理	・論理構造 / 意味構造			
QB	QB00	文字列校正・修正	QB01	QB02	QB03	QB04	QB05	QB06					
		・テキストエディタ・般	・エディタプログラム	・エディタコマンド	・修正モードの設定 / 表示	・修正領域 / 修正箇所指定	・修正禁止領域の管理						
RA	RA00	出力フォントの生成・管理	RA01	RA02	RA03	RA04	RA05	RA06	RA07				
		・フォントの生成一般	・表示画面上で作成するもの	・フォント作成のためのキー制御	・OCRを用いるもの	・既存フォントの修正 / 合成	・拡大 / 縮小	・修飾 / 網掛け / 縁どり					
RB	RB00	文書表示制御	RB01	RB02	RB03	RB04	RB05	RB06					
		・小型(1~数行)表示装置	・表示部分の指定(例、何頁 / 何行)	・スクロール制御	・縦スクロール制御	・横スクロール制御	・キー制御						
RC	RC00	文書印刷制御	RC01	RC02	RC03	RC04	RC05	RC06	RC07	RC08	RC09		
		・印刷制御一般	・出力ファイル	・部分印刷	・印刷領域の設定	・印刷不可(例、用紙外)領域	・定形 / 差込み / 合成	・CRT / PR対応	・改行 / 行間ピッチ	・文字間ピッチ			
RD	RD00	音声出力	RD01	RD02	RD03								
		・報知音の発生	・入力文字の発声	・完成文書の読み合わせ									
SA	SA00	文書ファイル管理	SA01	SA02	SA03	SA04	SA05	SA06	SA07	SA08			
		・初期化	・ファイルの名称	・FAT / DIR / インデックス / データチェイン	・ファイルOPEN	・ファイル装置上のエリアの確保 / 表示	・主メモリーファイル装置間での読み出し / 展開	・格納のためのデータ変換	・圧縮格納				
TA	TA00	システム構成 / 制御	TA01	TA02	TA03	TA04	TA05	TA06	TA07	TA08	TA09		
		・外観 / 構造	・回路構造 / システム構造	・電源 / 電池	・電源異常 / 停電対策	・バックアップ / レジューム機能	・OS / プログラム制御	・主メモリのエリア / 使用管理	・文書のリスト構造管理	・かな漢字変換プログラム / FEP			
TB	TB00	システム操作	TB01	TB02	TB03	TB04							
		・ガイダンス / ヘルプ機能	・システム操作ガイダンス	・書式 / 文書作成ガイダンス	・ファイル操作に関するガイダ								
		TB11	TB12	TB13	TB14	TB15							
		・コマンド入力 / 処理	・キーボードマクロ	・プロテクト / パスワード	・モード設定 / 変更	・操作ミス対策							

VA	VA00	VA01	VA02	VA03	VA04	VA05	VA06	VA07	VA08	VA09
	補助機能	・教育/訓練	・検索/ソート	・日付/カレンダー	・日記/月報の作成	・時刻管理	・電卓機能	・スケジュール管理	・マルチメディア管理	・データベース
		VA11	VA12							
		・印章/認証	・国語辞典							
VB	VB00	VB01	VB02	VB03	VB04					
	外国語	・多言語/翻訳	・欧文	・ハイフン	・スペルチェック					
		VB11	VB12	VB13	VB14					
		・中国語	・発音表記(ピンイン)入力	・声調を利用するもの	・発音入力の為のキーを有するもの		・ハンゲル	・漢字変換を伴うもの		・その他の言語(例、アラビア語)
VC	VC00	VC01	VC02	VC03	VC04					
	通信機能	・通信一般	・文書メール	・分散文書処理/フォント分散	・TELEX/FAX/ビデオTEXT					

(参考) Fターム付与件数\_平成17年11月末現在

Fターム付与件数	Fターム付与数	Fターム付与数	Fターム付与数	Fターム付与数	Fターム付与数	Fターム付与数							
KA00	6116	MB00	2537	MG00	1281	NC03	679	QA04	505	RB11	1753	TA00	6639
KA01	4569	MB01	600	MG01	954	NC04	1524	QA05	231	RB12	104	TA01	1332
KA02	552	MB02	156	MG02	166	NC05	1231	QA06	1707	RB13	156	TA02	2164
KA03	3327	MB03	978	MG03	261	NC06	785	QA07	275	RB14	359	TA03	276
KA04	1245	MB04	92	MG04	209	NC07	674	QA08	224	RB15	186	TA04	71
KA05	921	MB05	341	MG05	164	ND00	1709	QA09	687	RB16	462	TA05	145
KA06	155	MB06	271	MG06	236	ND01	789	QA11	658	RB21	1941	TA06	2079
KA07	229	MB07	297	MH00	2278	ND02	441	QA12	708	RB22	580	TA07	745
KA08	542	MB11	305	MH01	451	ND03	417	QA13	247	RB23	418	TA08	348
KA09	122	MB12	54	MH02	1981	ND04	386	QA14	859	RB24	162	TA09	153
KB00	689	MB13	52	MH03	515	NE00	836	QA15	340	RB25	331	TA11	1775
KB01	202	MB14	352	MH04	320	NE01	225	QA16	193	RB26	233	TA12	268
KB04	330	MB15	79	MH05	61	NE02	260	QA17	129	RB27	556	TA13	238
KB05	161	MB16	87	MH06	49	NE03	305	QB00	492	RB31	2951	TA14	151
KB06	94	MB21	763	MH07	162	NE05	180	QB01	951	RB32	1669	TB00	5790
KC00	1052	MB22	491	MJ00	1346	NF00	1767	QB02	302	RB33	465	TB01	3192
KC01	653	MB25	207	MJ01	153	NF01	401	QB03	199	RB34	650	TB02	525
KC02	192	MC00	978	MJ02	163	NF02	344	QB04	292	RB35	131	TB03	1698
KC05	567	MC01	402	MJ03	559	NF03	494	QB05	1274	RC00	3905	TB04	550
KC06	264	MC02	271	MJ04	251	NF04	882	QB06	116	RC01	1619	TB11	988
LA00	1957	MC03	248	MJ05	328	NF05	131	QB11	2454	RC02	354	TB12	95
LA01	1501	MC04	193	NA00	5471	NF06	114	QB12	714	RC03	622	TB13	615
LA02	177	MC05	150	NA01	359	NF07	234	QB13	678	RC04	311	TB14	1690
LA03	315	ME00	4344	NA02	118	NF08	192	QB14	896	RC05	131	TB15	412
LA04	116	ME01	910	NA03	2812	NF09	174	QB15	153	RC06	528	VA00	4078
LA05	199	ME02	483	NA04	1408	NF11	167	QB16	631	RC07	298	VA01	296
LA06	105	ME03	292	NA05	552	NF12	58	QB17	428	RC08	278	VA02	2034
LA07	87	ME04	117	NA06	882	NF13	82	QB18	686	RC09	339	VA03	269
LB00	548	ME05	247	NA07	681	NG00	2551	RA00	3718	RC11	833	VA04	62
LB01	513	ME06	208	NA11	1133	NG01	364	RA01	1952	RC12	202	VA05	242
LB02	79	ME11	1123	NA12	129	NG02	1724	RA02	268	RC13	270	VA06	69
LB03	376	ME12	296	NA13	103	NG03	468	RA03	72	RC14	326	VA07	133
LC00	485	ME13	267	NA14	1103	NG04	226	RA04	138	RDD0	1033	VA08	447
LC01	433	ME14	589	NA15	33	NG05	806	RA05	1584	RDD1	340	VA09	1036
LC02	67	ME15	797	NB00	3490	PA00	993	RA06	799	RDD2	157	VA11	128
LC03	41	ME16	110	NB01	1108	PA01	764	RA07	498	RDD3	467	VA12	186
MA00	2548	ME17	385	NB02	390	PA02	175	RA11	629	SA00	4932	VB00	2028
MA01	700	ME21	2254	NB03	174	PA03	266	RA12	543	SA01	14	VB01	948
MA02	303	ME22	351	NB04	64	PA04	194	RA13	814	SA02	331	VB02	890
MA03	232	ME23	296	NB05	184	PA05	229	RA14	323	SA03	1079	VB03	88
MA04	566	ME24	272	NB06	97	PB00	1355	RA15	1405	SA04	103	VB04	373
MA05	263	ME25	318	NB07	277	PB01	558	RA16	332	SA05	230	VB11	314
MA06	921	ME26	117	NB08	297	PB02	348	RA17	155	SA06	1004	VB12	201
MA07	142	MF00	1779	NB11	965	PB03	671	RA18	192	SA07	338	VB13	77
MA08	309	MF01	96	NB12	96	PB04	178	RB00	7952	SA08	199	VB14	55
MA09	218	MF02	570	NB13	35	PB05	441	RB01	658	SA11	178	VB17	83
MA11	513	MF03	443	NB14	835	PB06	132	RB02	600	SA12	1171	VB18	14
MA12	184	MF04	477	NB15	271	QA00	4498	RB03	547	SA13	470	VB20	49
MA13	154	MF05	225	NC00	3129	QA01	2063	RB04	158	SA14	1670	VC00	2906
MA14	77	MF06	296	NC01	968	QA02	1408	RB05	135	SA15	729	VC01	1776
		MF07	226	NC02	996	QA03	993	RB06	910	SA16	204	VC02	573
												VC03	1025
												VC04	351

## 5B009 Fターム解説(抜粋)

### 技術内容

#### 【IPCカバー範囲】

G06F 17/20～17/26

#### 【テーマ技術の概要】

本テーマは、文章を入力して文書データを作成し、作成されたデータを保存管理し、出力するために整形する技術に関する。

本テーマでは、日本語の文書管理に関するものが大多数ではあるが、中国語・英語等の外国語に関するものも含まれる。

### Fタームの説明

#### 【KA 文書入力制御】

##### KA00 文書入力制御

この観点には、日本語のみならず欧文等の外国言語も含めた言語を入力するための基本技術を分類している。

##### KA01 ・キー/タブレット

ここには、文字入力に利用される入力装置の構造に関する一般的事項を分類している。

##### KA02 ・日本語入力キーボード

日本語入力のため特殊な形状を有するもの。または、そのためのキーを有するもの。

##### KA03 ・キーの機能/意味付け

例えば、ファンクションキーの機能の設定。  
(単語等をキーに対応づけて記憶するものはMF01)

##### KA04 ・入力モード/シフトモード

キーボードの入力モードに関する事項  
例えば、入力位置の移動に伴いモードを変更して行くもの。

##### KA05 ・入力誤り対策

入力時における操作ミスに対処する技術。  
(仮名漢字変換にともなう操作ミスの発見はMA03)

##### KA06 ・モード誤り対策

例えば、アルファベットモードで入力したものを仮名文字に変更するもの。

##### KA07 ・入力の再利用/アンドゥー

直近の入力データを保持し再利用するもの。  
カット&ペースト。

##### KA08 ・特殊文字(例. 括弧/絵文字)入力

キーボードからの入力、または仮名漢字変換で入力不可能な文字の対策。  
右括弧と左括弧の対応付け。  
特殊文字を表示して指示入力するものも含む。

##### KA09 ・合成文字(例. アクセント記号)入力

(濁音または半濁音に関するものはKC02)

## [KB 音声入力]

- KB00 音声入力  
この観点には、文書の入力に音声認識手段を用いるものを分類している。
- KB01 ・操作者の補助入力  
音声認識動作の開始指示、あるいは認識の補助情報を操作者が入力するもの。  
話者の口の動き等を利用するもの。
- KB04 ・不確定候補の対策  
認識候補を特定する事項  
認識候補が特定できなかったときの対応
- KB05 ・認識用テーブル  
音声認識用の辞書に関する事項
- KB06 ・かな漢字変換の結果を利用するもの  
文法処理等、仮名漢字変換の手法を用いて認識候補を特定するもの。

## [KC 仮名入力]

- KC00 仮名入力  
この観点には、平仮名またはカタカナを入力するための技術を分類している。
- KC01 ・仮名の直接入力  
平仮名またはカタカナを直接入力するための技術。  
(キーボードの形状に関するものはKA02)
- KC02 ・濁音 / 拗音 / 促音の入力  
濁音の入力等、特殊な入力形態をとるものに関する事項
- KC05 ・ローマ字入力  
ローマ字による日本語入力技術を分類している。  
ローマ字入力用キーボード。
- KC06 ・ローマ字 - かな変換  
変換開始のタイミング。  
変換時の表示制御  
特殊なローマ字表記入力(例:「ん」「ぁ」の入力)。

## [LA 漢字入力]

- LA00 漢字入力  
この観点には、仮名漢字変換を用いる事なく(但し、LA02とLA07には仮名漢字変換の技術が関係する)漢字を直接的に入力する技術を分類している。  
漢字を表示装置に表示、あるいはタブレット上に直接指示することにより選択するものはサブ観点LB。  
漢字をその形状、書き順等で指定するものはサブ観点LCから選択している。
- LA01 ・OCR / 手書入力を用いるもの  
手書き文字または印刷文字を文字認識して入力するもの。  
(書式、校正に関するデータをOCRで入力するものはNA01)
- LA02 ・仮名 - 漢字変換の技術を利用するもの  
文字認識に仮名漢字変換を結合させた技術。  
仮名漢字変換自体の技術に関しては観点MA以下にも付与している。
- LA03 ・文字認識のための辞書  
パターンマッチング用の辞書等、文字認識に利用する辞書。
- LA04 ・連想入力  
個々の漢字に連続する2乃至3個のキー操作を割り当てて入力するもの(例:利:「き」「り」)。

- 2ストローク、3ストローク方式、
- LA05 ・漢字コード入力  
漢字コード(例、JISコード)で漢字を指定するもの。
- LA06 ・画数入力  
漢字の画数を入力する事により、対象とする漢字を同じ画数の漢字群から選択する技術。
- LA07 ・熟語を利用するもの  
一つの漢字を熟語の第1字または第2字として入力するもの。  
(例、「機」を「機械」の第一字として入力)

#### 【LB 表示入力】

- LB00 表示入力  
この観点には、漢字を表示装置に表示、あるいはタブレット上に直接提示することにより選択するものを分類している。
- LB01 ・漢字全部表示  
盤面または表示装置により、漢字を操作者に提示するもの。
- LB02 ・頁式/シフト式  
キー盤面にオーバーレイシートを乗せるもの。  
シフト動作によりキー対応の漢字を変更するもの。
- LB03 ・表示装置を利用するもの  
CRT等に被選択漢字を表示するもの。

#### 【LC 分解入力】

- LC00 分解入力  
この観点には、漢字をその形状、書き順等で指定するものを分類している。
- LC01 ・部首/構成要素入力  
偏、旁等を指定することにより漢字を特定する技術。
- LC02 ・形態/ゴーマ法  
漢字の形態(例、上下二分型、左右二分型)により漢字を指定するもの。  
三角ゴーマ法、四角ゴーマ法。
- LC03 ・書き順によるもの  
書き順を指定する(例、女:くノ一)方法。

#### 【MA 仮名 - 漢字変換】

- MA00 仮名 - 漢字変換  
この観点には、文書入力中または修正中等を問わず、仮名(ローマ字)入力を漢字に変換する技術を分類している。  
入力仮名文字列を文節または単語に分解する技術はサブ観点MB。  
漢字変換、文節切りだし等に文法を利用する技術はサブ観点MC。  
仮名漢字用辞書に関する技術はサブ観点ME。  
同じ読みを持つ漢字(同音異字)に対処する技術はサブ観点MH。  
数字に対する処理等、通常の仮名漢字変換とは異なる変換技術はサブ観点MJから。
- MA01 ・変換制御に伴う入力制御  
仮名漢字変換と入力との関連技術の一般事項。  
作成済み文章と入力中の文字列(仮名漢字変換中の文字列)との表示関係の制御。
- MA02 ・入力仮名列の保持  
漢字変換後も仮名文字を記憶しておくもの。

- MA03 ・入力誤りの対策  
 仮名漢字変換処理等に入力エラーが発見されたときの対策、  
 入力誤りの報告。  
 誤り入力の修正操作に関する事項(例、既変換処理の無効化または再利用)。
- MA04 ・変換開始  
 仮名漢字変換動作が開始される契機に関する事項  
 (例、句読点の入力または助詞の検出)
- MA05 ・複数変換部 / 複数の変換機能を有するもの  
 仮名漢字変換部を機能で分割し、個別に管理利用可能としたもの。  
 変換態様を指定または変更するもの。
- MA06 ・確定 / 未確定  
 同音異字が存在したときの文書データをそのまま保持するもの。  
 未確定部分を確定するための事項、または確定したときの処理
- MA07 ・変換情報(例、品詞情報)を記憶しておくもの  
 仮名漢字変換において判定された文節位置または品詞等を、文章作成中あるいは作成後まで保持しておくもの。
- MA08 ・再変換  
 一旦確定状態とされた部分を他の候補に変更するもの。  
 確定部分を未確定の状態に戻す技術。
- MA09 ・変換不可能時の対策  
 漢字候補が存在しなかったときの対策  
 (語分割、文節分割の失敗はMB05)
- MA11 ・変換に伴う表示制御  
 同音異字の選択に伴う表示位置、表示長の変化に関する事項  
 確定部分と未確定部分の表示態様、あるいは画面上での制御を変える技術。  
 (同音異字の選択肢そのものは観点MH)
- MA12 ・外来語  
 外来語の処理に関する事項すべて。  
 例、表記の揺らぎに対する対策、英語綴りでの入力。
- MA13 ・変換レベル(例、教育漢字 / 当用漢字のみ)  
 例えば、教育漢字のみ、当用漢字のみを用いての変換
- MA14 ・推敲を伴うもの  
 仮名漢字変換実行時、同義語による言い替えまたは言い回しの選択等を伴うもの。  
 (完成した文書の推敲は観点QA)

#### 【MB 単語区切り処理】

- MB00 単語区切り処理  
 この観点には、入力仮名文字列から、仮名漢字変換の単位となる文節または単語を分離、識別するための技術を分類している。
- MB01 ・区切り入力 / 分かち書き入力  
 文節単位の分かち書き入力。  
 入力者が補助的な区切り情報を入力するもの。
- MB02 ・漢字部分 / カタカナ部を指定するもの  
 操作者が、仮名、カタカナまたは漢字の変換部を指定するもの。
- MB03 ・区切り処理一般  
 べた書または続けて入力された複数の文節からなる仮名文字列文を、文節に自動分割するもの。  
 文節または連文節で入力された文字列から、単語を抽出するもの。

- MB04 ・バックトラック(総当たり)  
仮名文字列から、単語として可能性のある組み合わせを全て抽出し、その妥当性を検討して行くもの。
- MB05 ・分割失敗対策  
変換候補が存在しなかったときの対策、  
分割語長が短すぎる等の分割異常対策。
- MB06 ・人による手助け / 再分割指示  
文節位置、単語位置、変換単位等を操作者が指示するもの。  
(仮名入力時に区切り情報を入力するものはMB01)
- MB07 ・評価値(尤値) / 評価関数  
単語の切り出し、漢字の選択等に評価関数または評価値を利用するもの。
- MB11 ・最長一致  
入力仮名文字列と、変換辞書の索引文字列を先頭部分より比較し、最も長く一致したものを変換候補とする技術。
- MB12 ・逐次変換逐次表示  
入力仮名文字列で順次辞書を検索し、候補が一つとなったとき確定したものとする方法。
- MB13 ・最長一致の補正  
最長一致によって得られた結果が誤りであったときの対策。
- MB14 ・複合語処理  
複数の単語が合体して一つの単語となったものの処理。  
(例. 厚生 + 大臣 厚生大臣)
- MB15 ・複合語の登録  
熟語列または単語列等、複合語と判断されるものを、自動的または操作者の要求で単語辞書に登録するもの。
- MB16 ・複合語 / 熟語の分割  
複合語または熟語として、目的の仮名漢字変換が失敗したとき、仮名文字列を分割し、単語の組み合わせとして処理するようなもの。
- MB21 ・意味 / 用法を利用するもの  
仮名漢字変換に意味解析の手法を利用するもの。  
(そのための辞書自体はME25)
- MB22 ・単語の接続関係テーブル  
個々の単語の意味的、文法的接続の可否を記憶しておくもの。  
(文法上の品詞の接続関係に関するものはMC01)
- MB25 ・文法学習 / 分割方法の記憶 / 学習一般  
辞書への新規登録(観点ME、MF)、使用頻度または直近使用の記憶(観点MG)以外の学習に関する一般的事項。

#### 【MC 文法を利用するもの】

- MC00 文法を利用するもの  
この観点には、文節切りだしあるいは仮名漢字変換に利用される日本語文法に関する技術を分類している。
- MC01 ・品詞の接続テーブル  
品詞間の接続関係の記憶方法(テーブルの構造)に関する事項  
接続テーブルを利用して文節分割、仮名漢字変換を行なうもの。
- MC02 ・自立語 + 付属語  
自立語または付属語に関する情報を用いて文節分割、仮名漢字変換を行なうもの。
- MC03 ・語幹 + 語尾 / 活用テーブル  
動詞または形容詞等の活用に関する事項、動詞等の名詞化に関する事項

- MC04 ・接頭語 / 接尾語  
接頭語または接尾語に関する情報を管理し、文節の切り出し、単語の抽出に利用するもの。
- MC05 ・助詞 / 助動詞  
文節の切り出しに助詞または助動詞を利用するもの。および、それらの管理技術。

#### 【ME 変換辞書】

- ME00 変換辞書  
この観点には、仮名漢字変換に用いられる変換辞書に関する技術を分類している。  
辞書の追加または削除等に関する事項はサブ観点MFから選択している。  
誤変換等の指摘により、変換順位を変更するような学習機能にする技術はサブ観点MGから選択している。
- ME01 ・辞書の構造
- ME02 ・論理的階層構造  
辞書を大分類または小分類のように階層化したもの。
- ME03 ・インデックステーブル  
インデックステーブルを有するもの、及びインデックスの構造。
- ME04 ・物理的階層構造  
高速メモリと低速メモリを使い分けるもの。  
外部記憶装置から主メモリへロードするための技術。
- ME05 ・特殊なサーチキー  
平仮名以外(例. ローマ字)により変換辞書を検索するもの。
- ME06 ・圧縮技術  
検索キーの圧縮、または辞書全体の圧縮に関する技術。  
(文書データそのものの圧縮に関する事項はSA07)
- ME11 ・複数の変換辞書を有するもの  
変換辞書を並列的に複数有するもの。  
(階層構造的に複数有するものはME02、12、13)
- ME12 ・分野別辞書  
作成文書の分野に適合された辞書を有するもの。
- ME13 ・ユーザー別辞書  
文書作成者毎に専用の辞書を有するもの。  
(文書作成の便のための一時的ファイル、辞書は観点MG)
- ME14 ・アクセス / 辞書の読み出し制御
- ME15 ・曖昧検索(例. 誤り / 略語)  
誤りのあるキーまたは曖昧な表現による検索を可能とするもの。  
(欧文におけるスペルチェックはVB04)
- ME16 ・濁音 / 長音 / 促音 / 拗音の違い  
例えば、きそん きぞん、いちじく いちぢく。
- ME17 ・部分(例. 頭の部分)一致によるもの  
例えば、入力語を先頭部に持つ語を出力するもの。
- ME21 ・特殊内容辞書  
読みと漢字の対応以外の情報を保持している辞書。  
(異表記に関する事項はQA16)

- ME22 ・類語 / 同意語 / 反語辞書  
仮名漢字変換辞書に類語、同意語または反語を記憶しているもの。
- ME23 ・住所 / 〒 / 電話番号 / 地区番号  
住所、郵便番号、電話番号、地区番号等に関連づけて記憶し、文書の作成に利用する辞書。
- ME24 ・地名 / 人名  
固有名詞に関する辞書。
- ME25 ・意味辞書  
仮名漢字変換に用いる辞書に、単語対応の意味を記憶しておくもの。  
(国語辞書そのものはVA12)
- ME26 ・出力情報(例. 書体)を含むもの  
辞書中に、変換された文字の出力態様(例. 書体、アンダーラインの有無)の情報を保持させるもの。

#### 【MF 登録 / 削除】

- MF00 登録 / 削除  
この観点には、変換辞書に存在しない語、あるいは使用頻度の高い文(定形文)等を記憶しておく技術を分類している。
- MF01 ・キーボードのキー対応に記憶  
使用頻度の高い語、文字列または文を特定のキーに対応づけておき、当該キーの操作でそれらの語等を入力可能としたもの。  
(キーファンクション等、文書入力と直接関係のないものはKA03)
- MF02 ・辞書登録一般  
仮名漢字変換用の辞書に新語等を登録する技術。  
新規登録可能な領域の管理に関する事項
- MF03 ・自動取り込み  
誤変換または単漢字入力によって新たな漢字列が作られた時など、それらの語を自動的に辞書に登録する技術。
- MF04 ・オペレータ指示  
新語の登録に操作者の指示を必要とするもの。
- MF05 ・削除 / 変換無視  
辞書に登録されている項目の削除に関する事項  
辞書全体または特定の項目による変換を禁止するもの。  
特定の漢字を変換候補としない旨を記憶しておくもの。
- MF06 ・長文 / 定形文登録  
慣用句の登録、管理および利用に関する事項
- MF07 ・登録検索キー  
新語を登録する際の検索キーの入力、または決定に関する事項  
例. 長文登録の際の短縮キーの決定。

#### 【MG 学習機能(頻度 / 最新)】

- MG00 学習機能(頻度 / 最新)  
この観点には、操作者による誤変換の指摘、および同音異字からの選択動作を記憶し学習する技術を分類している。
- MG01 ・頻度情報一般  
同音異字語の選択回数または選択割合を記憶しておき、同音異字の選択に利用するもの。  
(頻度情報を用いて表示を制御するものはMG04)
- MG02 ・複数の頻度テーブル / 基準を有するもの  
頻度情報等を複数組有しており、状況により使用する組を変更して行くもの。

(分野、利用者が関係するものはME12、ME13)

- MG03 ・直近選択の優先  
選択された同音異字の優先順位を絶対的に高めるもの。  
例. 最上位とするもの、1ランク上げるもの。
- MG04 ・表示の制御を伴うもの  
頻度情報により、同音異字選択のための表示制御  
例. 表示位置または表示順序を変更するもの。
- MG05 ・直近使用 / 使用バッファ  
最近実行された同音異字選択を記憶するバッファを有し、次回はそのバッファの内容を優先的に表示するもの。
- MG06 ・暫定辞書  
当該文書作成の時だけに利用される、暫定的な辞書または頻度表を作成するもの。  
これらのものを保持して再利用するもの。

#### 【MH 同音異字処理】

- MH00 同音異字処理  
この観点には、同じ読みを持つ漢字群から、目的の漢字を選択する技術を分類している。
- MH01 ・情報の追加による絞り込み  
同音異字の選択のため、情報(例. 偏旁、漢字の外観)を追加するもの。
- MH02 ・候補の表示による選択  
同音異字を表示し、操作者が指示選択するもの。
- MH03 ・表示順序(例. 画数順 / 頻度順に関するもの)  
選択すべき漢字の表示順序に特徴を有するもの。  
(学習と関連するものはMG04と併付与している)
- MH04 ・表示エリア / 表示形態に関するもの  
候補漢字を表示領域と文書領域とに分けて表示するもの。
- MH05 …ウィンドウを開けるもの
- MH06 …特殊な枠(例. キーボードの形)を作るもの  
キーボードと対応付けて表示するものも含む。
- MH07 …参考情報(例. 意味 / 用例)を表示するもの  
意味、用例等を表示し、漢字選択の便をはかるもの。

#### 【MJ 特殊変換】

- MJ00 特殊変換  
この観点には、文章の入力で利用される変換機能のうち、仮名漢字変換以外のものを分類している。
- MJ01 ・かな文字確定  
入力仮名文字を漢字変換することなく確定するための技術。
- MJ02 ・数字変換  
例えば、アラビア数字表記 漢数字表記。
- MJ03 ・漢字 かな変換  
漢字から、その漢字の読みまたは漢字コードを出力する技術。
- MJ04 …るび / 振り仮名出力  
変換された漢字にるび、あるいは振りがなを振るため、漢字からかな情報を得るもの、あるいは入力仮名文字を保持しておくもの。  
(るび、振りがなを印刷するためのものはRA18)  
(入力仮名文字を保持するものはMA02にも付与している)

- MJ05 ・カタカナ / アルファベット / かな相互変換  
平仮名、カタカナまたはアルファベット表記の間で相互に変換するもの。

#### 【NA 書式データの管理】

- NA00 書式データの管理  
この観点には、入力される文章あるいは既存の文章を、目的の文書形態として整形するための書式データ(フォーマットデータ)の入力、記憶または操作者への指示等に関する技術を分類している。  
書式データに基づく実際の編集動作はサブ観点NBから。
- NA01 ・OCRによる編集 / 校正データの入力  
原稿用紙等をOCR入力することにより、文書編集データを入力するもの。  
校閲原稿をOCR入力することにより、校正データを入力するもの。
- NA02 ・タブレットによる編集 / 校正データの入力  
タブレットによる編集または校正データの入力。
- NA03 ・書式データの管理  
書式の制御データまたは文書整形データの管理に関する事項
- NA04 ・文書と書式データを分離して管理するもの  
制御または整形データを文書データとは分離して、文書の付属部または独立したファイルとして管理するもの。  
(但し、タブコード、改行コードに類するものは除く)
- NA05 ・階層構造を持つ書式  
文書の書式が階層構造または入れ子構造となっているもの。  
(章節等、文書の物理的 / 論理的構造に関する事項はQA06 ~ QA13)
- NA06 ・文書中に制御データを埋め込むもの  
書式または整形データを文書データ中に埋め込む形式のもの。
- NA07 ・書式の変換 / 移植  
既存の文書のフォーマットを変更するもの。  
既存の文書のフォーマットを利用して新たな文書を作成するもの。  
(定型のフォーマットまたは雛形によるものは観点ND)
- NA11 ・書式 / 編集 / 参照データの表示  
作成中の文書のフォーマット、または編集位置等に関する情報を操作者に知らせるための技術。
- NA12 ・タブ / マージ等の表示  
タブ、マージ等、行フォーマットに関する情報の表示。  
(文書中のタブ、マージの制御コードの可視表示はRB25)
- NA13 ・頁 / 行 / 桁数の表示  
文書中における編集位置(カーソル位置)の表示。
- NA14 ・レイアウト(印刷イメージ)の表示 / 縮小表示  
表示画面に表示しきれない、文書全体の印刷イメージを表示するもの。
- NA15 ・デシマル  
数値情報の表示または印刷における桁揃え。

#### 【NB 文書編集処理】

- NB00 文書編集処理  
この観点には、実際の編集動作を分類している。  
編集に際し、紙面を分割して編集する技術に関してはサブ観点NCから選択している。
- NB01 ・書式データによる文書の展開  
作成された文書をフォーマット情報に従って、表示または印刷に適した形式に変換するもの。
- NB02 ・校正による書式への影響対策

整形された文書に追加、削除等を行った事による、フォーマットの乱れを調整するもの。

- NB03 ・行におけるもの  
校正による「行またがり」、行分割の可否等の管理。
- NB04 ・頁におけるもの  
校正による「頁またがり」、頁分割の可否等の管理。
- NB05 ・書式機能の停止 / 変更  
書式指定コマンドの実行、または実行態様を制御する技術。
- NB06 ・書式のエラー / 実行不能時対策  
書式指定コマンドの誤り、指定書式と出力装置との不適合等により実行不可能の時の対策。
- NB07 ・特殊形態(例、数式 / 化学式)の生成  
例えば、数式のように、通常のキャラクタでは表現不可能な文書項目の作成に関する事項。
- NB08 ・縦横変換 / 管理  
縦書き、横書きの変換、およびそれに伴う文書形態の変更。
- NB11 ・書体(例、大きさ / アンダーライン)管理  
文書中の個々の文字、または文字列の種別の管理に関する事項。  
文字または文字列の修飾に関する事項。
- NB12 ・文字種(例、カタカナ / 数字)による書体の変更
- NB13 ・単語 / 文章による書体の変更
- NB14 ・印刷に特有なもの
- NB15 ・印刷用紙による書式の制御  
印刷用紙(例、A4・B5)を指定する事により、行数、桁数等を自動設定するもの。

#### [NC ブロック(領域)編集]

- NC00 ブロック(領域)編集  
この観点には、文書紙面を分割し、分割領域を単位として文章を編集するもの、文書面中に図表のための領域を設定するものを分類している。
- NC01 ・割付処理一般  
複数の文書、図表等を出力用紙上に配列するための技術一般。
- NC02 ・領域の生成・変更 / 削除  
文書または図表のための領域の確保、変更に関する事項。  
領域の変更に伴う他の領域への影響の管理。
- NC03 ・領域の物理的位置情報の管理  
領域の行、桁等の位置関係の管理に関する事項。  
出力した時の領域の位置関係の管理。
- NC04 ・領域の論理的結合の管理  
複数の領域間での、文書としてのつながり関係を管理するもの。
- NC05 ・領域内のデータ管理  
領域内への文書の格納等、領域と文書の対応付けに関する事項。
- NC06 ・領域内のデータ編集 / 校正  
領域内の文書を編集または校正するための技術。  
編集または校正に伴う領域の変更。  
領域内での文書データの移動の制御。
- NC07 ・領域文書の表示制御  
領域に分割された文書を表示するための技術。  
必要な時は観点RBも付与している。

## 【ND 固定様式】

- ND00 固定様式  
この観点には、葉書または仕様書の様に、書式や形式が決まっているものの作成、既存の文書を利用して新たな文書を作成するもの等を分類している。
- ND01 ・固定様式(例、葉書 / 名刺)  
葉書あるいは定型書類の様な型の決まった文書の作成。
- ND02 ・差込み  
定型文中に変化部分(例、相手の名前)のみ追加して文書を完成させるもの。  
空白部分に文章を追加することにより文書を完成させるもの。  
(印刷における差込みはRC06)
- ND03 ・文書の連結 / 合成  
複数の文書を連結あるいは合成する事により文書を完成させるもの。
- ND04 ・既存文書からの取り込み / 利用  
既存の文書の一部を利用して文書を作成するもの。

## 【NE 頁管理】

- NE00 頁管理  
この観点には、頁単位で書式を管理するもの、または書式データにおける頁に関する事項を分類している。
- NE01 ・頁単位での書式管理  
頁単位で書式またはフォーマットを管理するもの。  
頁の書式またはフォーマット自体に関するもの。
- NE02 ・頁ナンバーの管理 / 頁表示  
文書の頁ナンバーの管理、または表示に関する一般事項  
(印刷特有の事項はRC14)
- NE03 ・頁単位の編集  
文書の編集、校正を頁単位で行うもの。  
編集または校正による頁の境界の乱れを整えるもの。
- NE05 ・頁またがり / 頁あふれ管理  
領域が頁境界に掛かったか否かの管理  
分割禁止領域が境界に掛かったときの対策

## 【NF 行管理】

- NF00 行管理  
この観点には、行単位で書式を管理するもの、または書式データにおける行に関する事項を分類している。  
行内での文字の配列に関する事項も分類している。
- NF01 ・行単位での書式管理  
行単位で書式またはフォーマットを管理するもの。  
行の書式またはフォーマット自体に関するもの。
- NF02 ・行間 / 改行巾管理  
文書の改行巾のデータに関する事項  
(印刷時の改行制御自体は観点RC)
- NF03 ・文字間隔  
文書の文字間隔のデータに関する事項

- 均等割付、プロポーション。
- NF05 …センタリング  
文字列を行の中央部に配列するための技術。
- NF06 …右づめ / 左づめ  
文字列を行の右端あるいは左端に配置するための技術。
- NF07 …マージ  
行中において文字の配置可能な範囲を決定する技術。
- NF08 …タブ  
行中において項目の先頭を設定する技術。
- NF09 …インデント / 段下げ  
行中において文字列の先頭位置を決定するための技術。
- NF11 …禁則処理  
行の先頭あるいは末尾にきてはならない文字に関する技術。  
禁則処理の為の制御、そのための出力制御。
- NF12 …行頭禁則  
「。」「?」等、行の先頭にきてはならない文字の管理。
- NF13 …行末禁則  
「(」「」等、行の末尾にきてはならない文字の管理。

#### 【NG 画像の編集を含むもの】

- NG00 画像の編集を含むもの  
この観点には、文章中に図表を含むものを分類している。  
図表のための領域の確保に関する事項は観点NCから。
- NG01 …キャラクタ・ビットマップ変換  
キャラクタ情報をビットマップ化して、表示または編集するもの。
- NG02 …合成 / 画像挿入  
文書情報と画像情報を合成して目的の文書を作成するもの。
- NG03 …挿入位置の管理  
文書情報中の画像を挿入すべき位置の管理に関する事項。  
(領域の管理一般は観点NCから選択している)
- NG04 …本文と図表との関連付け  
文書情報と挿入画像との、意味的または論理的つながりを管理するもの。
- NG05 …画像校正  
画像情報の修正または校正自体。

#### 【PA 罫線管理】

- PA00 罫線管理  
この観点には、表、枠組み線等の罫線の設定または管理、表示との関連事項を分類している。  
表そのものに関する事項は観点PBから選択している。
- PA01 …罫線データのプログラム  
文書中に罫線を設定するための技術一般
- PA02 …カーソルによる線引き / 移動 / 削除  
罫線の設定等をカーソルを利用して行うもの。
- PA03 …罫線パターンの制御  
罫線の表示のためのパターンに関する事項

- PA04 ・線種の制御  
太線 / 点線等、罫線の線種に関する事項
- PA05 ・編集による影響の管理  
文書の編集または校正による罫線の乱れに対処する技術。

#### 【PB 表管理】

- PB00 表管理  
この観点には、文字列等を表形式で管理する技術を分類している。
- PB01 ・作表 / 欄の増減  
表の作成、または作成済みの表の欄の増減に関する技術。
- PB02 ・表示 / カーソル(例、項 / 欄の指定)  
表を表示するための技術。  
表示画面上で表を操作する技術。
- PB03 ・欄内のデータ管理  
表の欄内の格納すべきデータの管理に関する事項。
- PB04 ・データの変更に伴う枠組みの変更  
欄内のデータ量の増減によって表の枠組みを変更するもの。
- PB05 ・計算 / 表計算  
表の計算または文書内の数値の計算。  
(電卓機能はVA06)
- PB06 ・グラフ化  
表データ等を文書中でグラフ化する技術。

#### 【QA 文体の校正(推敲)】

- QA00 文体の校正(推敲)  
この観点には、文書の構造(章・節等)、文書の付属物(目次・参考文等)を管理する技術を分類している。  
文章構造または文体の解析、管理一般。
- QA01 ・自然文解析  
日本語文章等の自然文を解析するもの。
- QA02 ・文法解析によるもの  
文法を用いての自然文解析。
- QA03 ・単語・文節の切り出し / 辞書作成  
日本語文書から単語、文節等を切り出す技術。  
切り出された単語から辞書を作成する技術。
- QA04 ・意味解析によるもの  
意味情報、用例等を用いての自然文解析。
- QA05 ・抄録作成 / 短文化  
抄録または概要文の作成。
- QA06 ・文体構造の管理  
自然文の物理的構造(例、章・節)、論理的(意味的)構造の管理。
- QA07 ・章 / 節の管理  
文書の物理的構造の管理。  
文書から章、節等を自動的に抽出するもの。  
章または項見出しを自動的に作成するもの。

- QA08 …項番号の付与 / 管理  
文書から文等を抽出して、項番号を付与していくもの。  
項番号を入力設定する技術自体も含む。
- QA09 …論理構造 / 意味構造  
文章の意味上の構造を管理するもの。
- QA11 …見出し / 脚注 / 参照文  
文書中に脚注、参照文等を付加するための技術。
- QA12 …キーワードの抽出  
文書から、当該文書を言い表す単語または単語列を抽出する技術。
- QA13 …目次の作成  
文書の目次の管理一般。  
目次を自動的に作成するもの。
- QA14 …言い回し / 誤使用対策  
作成された文書中の、文法上あるいは慣用上の誤りに対処するもの。  
用法の不統一に対処するもの。
- QA15 …異表記(例、送りがな)  
送りがな(例、割り込み - 割込み)、新漢字 - 旧漢字等の違いに対処するもの。
- QA16 …異表記用辞書  
異表記を管理するための辞書を有するもの。  
そのための辞書を作成する技術。  
(仮名漢字変換の辞書一般は観点ME)
- QA17 …異文体(例、ですます体 / 敬語 / 口語文語)  
文体(例、口語文体、文語文体)の統一等、文体に関する事項

#### [QB 文字列校正・修正]

- QB00 文字列校正・修正  
文書の文字または文字列の修正に関する事項
- QB01 …テキストエディター一般  
テキストエディターに関する一般的事項  
(スクリーンエディターでの表示制御は観点RB)
- QB02 …エディタープログラム  
(編集コマンドはTB11)
- QB03 …エディターコマンド
- QB04 …修正モードの設定 / 表示  
修正モードへの移行、他のモード(例、編集モード)との切替モードが変更された事  
(システム操作上でのモードに関する事項はTB07)
- QB05 …修正領域 / 修正箇所の指定  
修正動作を実行すべき部分の指定に関する事項
- QB06 …修正禁止領域の管理  
修正を禁止する領域、文書の保護領域に関する事項
- QB11 …修正動作  
修正動作一般
- QB12 …挿入
- QB13 …削除
- QB14 …移動 / 置換
- QB15 …かな漢字変換を伴うもの

- QB16 ・検索修正  
複数箇所の特定の文字列を他の文字列に変更するときもの。  
(修正操作の記憶(キーボードマクロ)はTB12)
- QB17 ・修正操作の記憶 / プログラム化
- QB18 ・履歴 / 修正部位の保持 / 表示  
文書修正時に、修正後の文書と共に修正前のもも保持しておくもの。  
修正が行われた部分を表示するもの。

#### [RA 出力フォントの生成・管理]

- RA00 出力フォントの生成・管理  
この観点には、表示装置または印刷装置に出力すべき文字パターンの作成、または管理に関する事項を分類している。
- RA01 ・フォントの生成一般  
出力装置のための新たな文字パターンを作成する技術。
- RA02 …表示画面上で作成するもの  
表示画面上で、ドットカーソルを操作する事で文字パターンを作成するものに関する事項
- RA03 ……フォント作成のためのキー制御  
ドットの表示または消去のためのキー操作に関する事項
- RA04 …OCRを用いるもの  
用紙に書かれた文字パターンを読みこむもの。
- RA05 …既存フォントの修正 / 合成  
すでに存在する文字パターンを変更して、新たな文字パターンを作成するもの。
- RA06 ……拡大 / 縮小  
既存の文字パターンを拡大、縮小するもの。
- RA07 ……修飾 / 罫掛け / 縁どり  
既存の文字パターンを修飾するもの。
- RA11 ・多種類のフォントを有するもの  
例えば、草書体と楷書体のフォントを持つもの。  
それらのフォント対応付け、指定、読みだし。
- RA12 ・フォントファイルへの格納 / 圧縮  
フォントデータをファイルとして保存するための技術。
- RA13 ・フォント辞書 / テーブルへのアクセス
- RA14 …フォントデータの不存在時処理  
出力すべき文字のフォントデータが存在しなかったときの対策。
  
- RA15 ・出力装置への展開  
(例、アウトラインフォント)  
フォントデータから出力すべき実際の文字パターンを作成するもの。
- RA16 …アウトラインフォント  
出力装置への展開時、文字の輪郭をなめらかにする技術。
- RA17 …アンダーライン / 枠の出力  
アンダーライン、罫線等を印字装置で出力するためのもの。
- RA18 …るび / 添え字の出力  
るび、添え字等、縮小文字を印字するための事項

## [RB 文書表示制御]

- RB00 文書表示制御  
この観点には、CRTディスプレイあるいは液晶表示装置に文書を表示する技術を分類している。  
書式・編集・仮名漢字変換にともなう表示制御は、該当する観点にも付与している。
- RB01 ・小型(1～数行)表示装置  
表示可能な桁数が小さい表示装置独特の技術事項。  
CRT等のスクロールは付与していない。
- RB02 ・表示部分の指定(例. 何頁、何行)  
表示したい文書中の位置を指定するもの。  
指定された位置を表示するためのもの。
- RB03 ・スクロール制御  
文書中の表示位置を順次変更してゆくための技術。
- RB04 ・たてスクロール制御  
表示中の文書位置を、上方向または下方向に変更するもの。
- RB05 ・横スクロール制御  
表示中の文書位置を、右方向または左方向に変更するもの。
- RB06 ・キー制御  
表示制御に直結したキー制御。  
カーソルの制御キーも含む。
- RB11 ・カーソル制御  
表示画面上のカーソルの制御一般。
- RB12 ・複数カーソル  
始点カーソル、終点カーソル、ウィンドウ対応のカーソル。
- RB13 ・カーソルパターンの変更  
カーソルの位置、モード等により、カーソルの形状、色等を変えるもの。
- RB14 ・カーソルのスキップ(例. 文頭 / 単語境界)  
カーソルを目的の箇所に速やかに移動させる技術。  
(頁 / 行 / 桁を指定するものはRB02)
- RB15 ・カーソルの移動範囲の制御  
カーソルの移動範囲を、例えば編集可能範囲、編集領域内に限定する技術。
- RB16 ・カーソルの位置による処理の変更  
カーソルの位置、例えば行頭か否か、によって処理を変えるもの。
- RB21 ・画面分割 / マルチウィンドウ  
一つの表示画面を複数に分割し、各々に独立した情報を表示するもの。
- RB22 ・一文書の多箇所表示  
分割画面に一つの文書の別の箇所を表示するもの。
- RB23 ・他文書 / 参考文の表示  
複数の文書あるいは国語辞書のような参考文を表示するもの。
- RB24 ・分割画面の連動  
分割画面の一つに処理を施したとき、他の画面への対応に関する事項。  
スクロールの連動。
- RB25 ・特殊コード(例. 改行コード / スペース)表示  
改行、タブコード等、文字ではないコードを可視化して表示するもの。
- RB26 ・縦 / 横制御  
表示の縦横を変更するもの。
- RB27 ・VRAM / 制御RAM

表示データまたは表示制御用のデータを記憶する手段に関する事項

RB31 ・特殊表示

RB32 ・強調表示 / カラー制御

RB33 ・重ね表示

複数の文書、または文書と図表を重ねて表示するもの。

RB34 ・文書イメージの表示

RB35 ・入力原稿を表示するもの

入力すべき文書の記載されている原稿を、表示画面上に表示するもの。  
(画面を分割して表示するものはRB21にも付与している)

#### [RC 文書印刷制御]

RC00 文書印刷制御

この観点には、文書処理装置における印刷制御に関する事項を分類している。  
(印刷フォーマットの制御は観点NAから)

RC01 ・印刷制御一般

RC02 ・出力ファイル

印刷すべきファイルの指定技術。  
文書ファイルから直接印刷するもの。

RC03 ・部分印刷

印刷対象となっている文書の全体を印刷しないもの。

RC04 ・印刷領域の設定

文書中の印刷しない部分を操作者が指定するもの。  
メモ書き部分等、印刷禁止部分の制御。

RC05 ・印刷不可(例、用紙外)領域

印刷装置あるいは用紙の関係により印刷できない部分の管理。  
印刷可能領域の表示、印刷不可能の警報

RC06 ・定形 / 差し込み / 合成

定形文に変形部分を追記して印刷するもの。  
複数の文書を合体して印刷するもの。  
(文書作成時の定形書式、差し込み、合成は観点ND)

RC07 ・CRT - PR対応

表示装置による表示の態様と、印刷装置による印刷の態様を調節する技術。

RC08 ・改行 / 行間ピッチ

RC09 ・文字間ピッチ

RC11 ・文字の書体 / 変形 / 拡大 / 属性管理

RC12 ・罫線 / アンダーラインの印字

RC13 ・付加印字(例、メモ / 日時 / 番号 / フッタ)

日付または固定項目、メモ書き等、本来の文書に存在しない事項を付加して印刷するもの。

RC14 ・頁管理(例、奇偶 / 裏表 / 頁数印字)

複数頁の文書を印刷する際の頁、または印刷単位の管理。  
頁番号の印刷。  
袋とじまたは両面印刷のための奇数、偶数頁の管理。

#### [RD 音声出力]

RD00 音声出力

この観点には、文書処理における発音、発声に関する事項を分類している。

- RD01 ・報知音の発生  
声以外の発音に関するもの。
- RD02 ・入力文字の発声  
入力された文字、ファンクション等を声で知らせるもの。
- RD03 ・完成文書の読み合せ  
完成された文書の読み合わせまたは朗読に関する技術。

#### 【SA 文書ファイル管理】

- SA00 文書ファイル管理  
この観点には、文書処理装置に付属する外部記憶装置、ファイル装置に関する事項、複数または複数種類のファイル装置を有するもの、記憶媒体の装着の有無を検出するもの等、外部記憶装置に関する事項を分類している。
- SA01 ・初期化  
外部記憶装置自体の初期化、記憶媒体の初期化に関する事項
- SA02 ・ファイルの名称  
作成文書をファイル装置に格納する際の名称の管理。  
(例えば、同一名称の警告、排除、名称の自動生成)
- SA03 ・FAT / DIR / インデックス / データチェイン  
記憶媒体上での文書ファイル等、ファイル群の管理形式に関する事項
- SA04 ・ファイルOPEN  
新規のファイルまたは記憶媒体上のファイルを、利用可能な状態にする技術。
- SA05 ・ファイル装置上のエリアの確保 / 表示  
記憶媒体上に格納すべきファイルのためのエリアを確保する技術。  
記憶媒体上の利用可能エリア量を表示する技術。
- SA06 ・主メモリーファイル装置間での読出し / 展開  
ファイル装置からのデータ読みだし、または装置への書き込み技術。
- SA07 ・格納の為のデータ変換  
ファイル装置への格納のため、文書データをファイル装置に適合させる技術。
- SA08 ・圧縮格納  
ファイル装置への格納のため、文書データを圧縮するもの。
- SA11 ・エラー対策 / ファイル復元  
ファイル装置のエラー対策。  
削除されたファイル、あるいは読み込み不能となったファイルの救済技術。
- SA12 ・ファイル検索  
外部記憶装置中の目的ファイルを探し出す技術。  
例、名称による検索・内容(キーワード)による検索
- SA13 ・ファイル変換 / 共通化ファイル  
他の装置あるいは他のアプリケーションとのファイルの共用化に関する技術。
- SA14 ・参考情報(例、履歴 / 頁 / 属性、紀要)  
付加情報も格納するもの。  
例えば、ファイルの履歴または作成年月日等を格納するもの。
- SA15 ・システムファイル(例、辞書 / フォントファイル)  
例えば、仮名漢字変換辞書またはフォントファイル等、文書ファイル以外のファイルに関する事項
- SA16 ・RAMカセット / ICカード  
文書処理装置が有するカセットあるいはICカード等、着脱可能な外部メモリに関する事項

## 【TA システム構成 / 制御】

- TA00 システム構成 / 制御  
この観点には、文書処理装置の構成、プログラム制御、データ管理に関する事項を分類している。
- TA01 ・外観 / 構造  
装置の全体の形、表示装置の形状等のもの。  
(キーボードの構造はKA01)
- TA02 ・回路構造 / システム構造  
文書管理装置の具体的構成、あるいは回路に関する技術。
- TA03 ・電源 / 電池  
商用電源、電池または充電回路等の電源に関する技術。
- TA04 ・電源異常 / 停電対策  
停電対策、バックアップ電源または電池切れ警報等。
- TA05 ・バックアップ / レジューム機能  
停電あるいは電源断時の装置状態、または情報の保持機能。  
電源ONに伴う処理の再開に関する技術。
- TA06 ・OS / プログラム制御  
文書処理装置におけるプログラムの管理一般。  
文書処理プログラムと他のプログラムとのデータ交換。
- TA07 ・主メモリのエリア / 使用管理  
文書処理装置の内部メモリ管理に関する事項。  
(外部記憶に関する事項は観点SA)
- TA08 ・文書のリスト構造管理  
作成中の文書情報を、内部メモリ上でいかに管理するかに関する事項。
- TA09 ・かな漢字変換プログラム / FEP  
フロントエンドプロセッサ。
- TA11 ・データ形式 / 変換  
キャラクタコードとテキストコード等の、文書データのデータ形式に関する一般事項。
- TA12 ・全 / 半角文字の処理  
対をなすコード体系の管理、またはその間でのデータ変換。  
表示あるいは領域指定における全角、半角文字の対策は、それらの観点からも選択している。
- TA13 ・データ圧縮  
文書管理におけるデータ圧縮技術一般。  
(ファイルにおけるデータ圧縮はSA07、仮名漢字変換辞書での圧縮はME06)
- TA14 ・障害対策  
装置における障害一般。  
(ファイルにおける障害はSA11)

## 【TB システム操作】

- TB00 システム操作  
この観点には、文書処理装置に対する操作者の操作、システムからの指示またはガイダンス等を分類している。
- TB01 ・ガイダンス / ヘルプ機能  
入力要求の表示、または入力可能種別等の表示。  
文書作成中での操作案内。
- TB02 ・システム操作ガイダンス  
システム操作またはプログラムの操作に関するガイダンス。

- TB03 ・書式 / 文書作成ガイダンス  
印刷書式、文書書式等の設定に関するもの。  
文書の体裁または項目を順次指示して行くもの。
- TB04 ・ファイル操作に関するガイダンス  
ファイルの読出または格納のためのガイダンス。  
ファイルの一覧表示等。
- TB11 ・コマンド入力 / 処理  
システム操作または文書作成上のコマンド処理。  
(文書書式上のコマンドは観点NA)
- TB12 ・キーボードマクロ  
編集、修正処理時等に操作者のキー操作を記憶しておき、以後の操作を簡略化するもの。
- TB13 ・プロテクト / パスワード  
装置機能の使用可または不可を制御するもの。  
ファイルへのアクセス禁止および許可に関する事項。
- TB14 ・モード設定 / 変更  
文書入力モード、編集モード、校正モード等の制御。  
(キー入力に関するものはKA04、KA14)
- TB15 ・操作ミス対策  
システム操作上またはコマンド処理上のミス。  
(文書入力における入力ミスはMA04)

#### [VA 補助機能]

- VA00 補助機能  
この観点には、文書管理に付随する文書処理以外の機能を分類している。  
日本語以外の言語を取り扱う技術はサブ観点VBから。
- VA01 ・教育 / 訓練  
キー入力の練習等、文書作成上の教育または訓練に関する技術。  
(文書作成途中におけるガイダンス、ヘルプ機能は観点TB)
- VA02 ・検索 / ソート  
文書作成に付随する検索、ソート機能。  
(校正における検索はQB16)
- VA03 ・日付 / カレンダー
- VA04 ・日記 / 月報の作成  
日付の関連する定形的な文書の作成、およびその管理。
- VA05 ・時刻管理  
時計機能またはアラーム機能。
- VA06 ・電卓機能  
文書作成とは独立した計算機能。  
(文書中の数値の計算、表計算はPB05)
- VA07 ・スケジュール管理  
日または時間単位での予定を管理する機能を持つもの。
- VA08 ・マルチメディア管理  
複数種の入力機構またはデータ種別を有する装置に関する事項。
- VA09 ・データベース  
カード型データベース等、データベース機能自体。

- データベースを利用可能な文書管理システム。
- VA11 ・印章 / 認証  
作成された文書または書類に対する承認機能。  
〔文書に対するアクセスの可否(パスワード)はTB06〕
- VA12 ・国語辞典  
国語辞典としての機能を有するもの。  
仮名漢字変換に利用される場合は、該当観点も付与している。

## 〔VB 外国語〕

- VB00 外国語  
この観点には、中国語、英語等の外国語を取り扱う技術を分類している。  
中国語における漢字の直接入力に関する事項は観点LA、LB。
- VB01 ・多言語 / 翻訳  
例えば、日本語と英語を取り扱うことが可能なもの。  
翻訳機能を有するもの。
- VB02 ・欧文  
アルファベット言語を取り扱うためのもの。  
(入力それ自体は観点KA)
- VB03 ・ハイツ  
単語の分割位置の決定に関するもの。
- VB04 ・スペルチェック  
アルファベット文字のつづり誤り一般。  
(日本語入力における入力ミス対策はMA03)
- VB11 ・中国語  
(中国漢字を入力するためのキーボード等に関するものは観点LA、LBからも選択している)
- VB12 ・発音表記(ピンイン)入力  
ピンインを入力するための技術。  
ピンインを漢字に変換するための技術。
- VB13 ・声調を利用するもの  
中国語の入力に、声調またはアクセントの情報を入力するもの。
- VB14 ・発音入力の為のキーを有するもの  
ピンインまたは声調を入力するためのキーボードに関する事項
- VB17 ・ハングル  
ハングルの入力または出力に関する技術。
- VB18 ・漢字変換を伴うもの
- VB20 ・その他の言語(例. アラビア語)

## 〔VC 通信機能〕

- VC00 通信機能  
この観点には、文書処理装置に通信機能を付加したものを分類している。
- VC01 ・通信一致  
文書の伝送に関する一般的事項
- VC02 ・文書メール  
電子メールの作成、発信または受信に関する事項
- VC03 ・分散文書処理 / フォント分散  
遠方に存在する、またはオンラインネットワーク上にある文書処理機能を利用するもの。

VC04 ・TELEX / FAX / ビデオTEX

文書処理装置をFAX等に接続し、文書情報をやりとりするもの。

### **「観点」「ターム」および「その他のターム」の利用上の注意点**

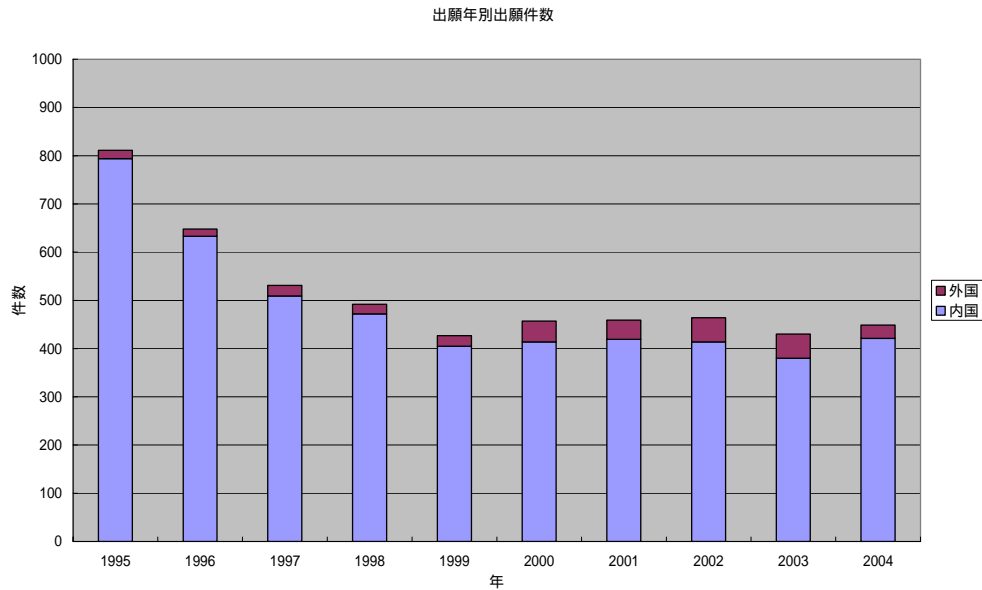
観点を表すターム(記号00)は、「その他」として使用し、上位概念のタームとしては使用しない。  
極力下位のタームを選択し、選択すべきタームが存在しなかったときのみ付与している。

1 - 4 E C L A 分 類 表

ECLA	說明 (英語版)
G06F17/20 .	Handling natural language data (speech analysis or synthesis G10L) [N9409]
G06F17/21 ..	Text processing (G06F17/27, G06F17/28 take precedence; systems composing machines B41B27/00) [N9409]
G06F17/21F ...	[N: Formatting, i.e. changing of presentation of document (G06F17/25, G06F17/26 take precedence)] [N9409]
G06F17/21F2 ....	[N: Display of layout of document] [N9409]
G06F17/21F4 ....	[N: Font handling] [N9409]
G06F17/21F6 ....	[N: Mathematical or scientific, subscripts, superscripts] [N9409]
G06F17/21F7 ....	[N: Pagination] [N9409]
G06F17/21F8 ....	[N: Tagging; Markup; Designating a block; Setting of attributes] [N9409]
G06F17/22 ...	Manipulating or registering by use of codes, e.g. in sequence of text characters [N9409]
G06F17/22C ....	[N: Storage facilities] [N9409]
G06F17/22T ....	[N: Interchange of coded text (computer aided management of electronic mail G06F17/60A2)] [N9409]
G06F17/24 ...	Editing, e.g. insert/delete [N9409]
G06F17/24A ....	[N: Annotation, e.g. comment data, footnotes] [N9409]
G06F17/24F ....	[N: Form filling; Merging, e.g. graphical processing of form or text] [N9409] [C9801]
G06F17/24R ....	[N: Tables; Ruled lines] [N9409]
G06F17/24T ....	[N: Tabulation, e.g. one dimensional positioning] [N9409]
G06F17/25 ...	Automatic justification [N9409]
G06F17/26 ...	Automatic hyphenation [N9409]

## 2. 出願データ

### (1) 出願年別出願件数(1995～2004)



### (2) 出願件数上位10社(2000～2004)

出願件数上位10社(2000～2004)

	2000		2001		2002		2003		2004	
	申請人氏名	出願件数	申請人氏名	出願件数	申請人氏名	出願件数	申請人氏名	出願件数	申請人氏名	出願件数
1位	キヤノン株式会社	34	セイコーエプソン株式会社	40	株式会社リコー	36	セイコーエプソン株式会社	36	株式会社ジャストシステム	48
2位	富士通株式会社	28	キヤノン株式会社	33	キヤノン株式会社	32	キヤノン株式会社	33	キヤノン株式会社	47
3位	富士ゼロックス株式会社	26	株式会社リコー	30	株式会社東芝	28	富士ゼロックス株式会社	30	富士ゼロックス株式会社	46
4位	株式会社東芝	24	富士通株式会社	25	富士ゼロックス株式会社	23	シャープ株式会社	23	セイコーエプソン株式会社	33
5位	シャープ株式会社	21	株式会社東芝	20	セイコーエプソン株式会社	21	株式会社リコー	22	株式会社リコー	17
6位	松下電器産業株式会社	20	シャープ株式会社	19	富士通株式会社	20	富士通株式会社	18	シャープ株式会社	16
7位	株式会社リコー	16	大日本印刷株式会社	18	大日本印刷株式会社	15	マイクロソフト コーポレーション	16	富士通株式会社	15
	株式会社日立製作所	16								
8位			株式会社日立製作所	11	株式会社日立製作所	14	株式会社東芝	14	株式会社東芝	14
			富士ゼロックス株式会社	11			日本電気株式会社	14		
9位	大日本印刷株式会社	14			シャープ株式会社	12			日本電気株式会社	11
					日本電気株式会社	12				
10位	ソニー株式会社	12	日本電気株式会社	10			株式会社日立製作所	12	マイクロソフト コーポレーション	10
	株式会社ジャストシステム	12					松下電器産業株式会社	12	三菱電機株式会社	10
	日本電気株式会社	12					大日本印刷株式会社	12		